

平成 25 年度

「市民による市政評価」

結果報告書

平成 25 年 11 月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

1 調査概要	4
1.1 調査の目的	
1.2 調査の対象、手法、期間	
1.3 調査の内容	
1.4 実施結果（回収率）	
2 調査結果	7
2.1 満足度および重要度の分析	
2.1.1 満足の度合い	
2.1.2 満足度における選択肢別の回答割合	9
2.1.3 重要の度合い	10
2.1.4 重要度における選択肢別の回答割合	12
2.1.5 満足度および重要度の属性別比較	13
2.1.6 項目別要望度	22
2.1.7 散布図	24
2.1.8 満足度および重要度の総括	25
2.2 さらに推進すべき取り組み分析	26
2.2.1 健康福祉分野に関する設問について	
2.2.2 教育分野に関する設問について	29
2.2.3 産業分野に関する設問について	32
2.2.4 都市基盤分野に関する設問について	35
2.2.5 環境・安全分野に関する設問について	38
2.2.6 地域情報・交流・行政運営分野に関する設問について ..	41
2.2.7 さらに推進すべき取り組みの総括	44
2.3 自由記述の類型化（抜粋）	46

1 調査概要

1.1 調査の目的

市の施策に対する市民の意見を調査・分析し、その結果を施策に反映させていくことで、効果的かつ効率的な市政運営に結び付けるとともに、調査報告を通じて多くの市民に市の施策を周知し、市政運営に対する理解と市民との協働のまちづくりに向けた意識醸成を図ることを目的とする。

1.2 調査の対象、手法、期間

(1) 対象

18歳以上の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）に、希望者2人（広報だいせん5月号にて募集）を加えた計1,002人

(2) 手法

郵送アンケート（無記名回答）方式

(3) 期間

平成25年5月24日（金）～6月7日（金）

1.3 調査の内容

本調査では、大仙市総合計画に示している体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、それぞれ「満足度」と「重要度」及び今後さらに推進すべき取り組みについて調査した。

◆「満足度」…大仙市の現状にどのくらい満足しているか。

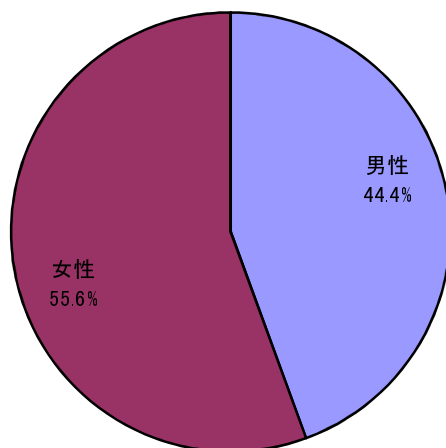
◆「重要度」…大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。

1.4 実施結果（回収率）

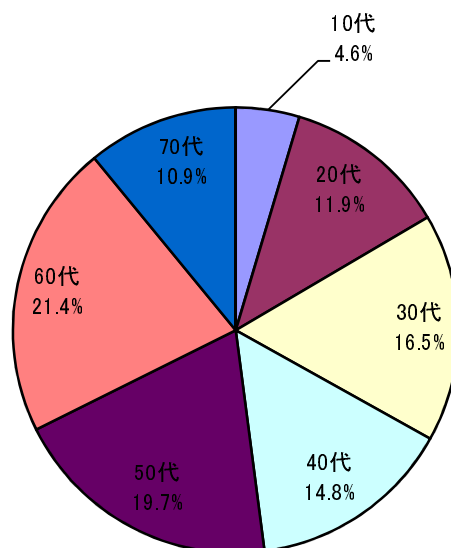
回収数 …… 413 人

回収率 …… 41.2%

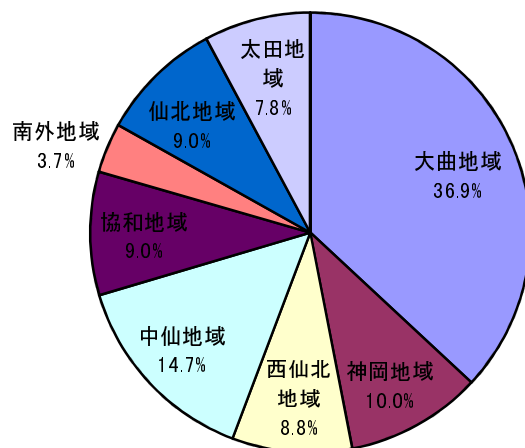
図表 1 回答者の性別の内訳



図表 2 回答者の年齢の内訳



図表 3 回答者の居住地域の内訳



2 調査結果

2.1 満足度および重要度の分析

2.1.1 満足の度合い

満足度の高い項目は「自然保護」が 3.55（昨年度：3.55）、「学校教育」が 3.47（昨年度：3.41）、「衛生環境」が 3.38（昨年度：3.34）となっている。

一方、満足度の低い項目は、昨年度同様「就業支援」が 2.38（昨年度：2.40）、「産業創出・支援」が 2.60（昨年度：2.64）、「観光振興」が 2.65（昨年度：2.64）となっている。

昨年度と比較すると、どの項目も小幅な増減となっており、「保健・医療」、「住環境」、「芸術・文化」、「安全・安心体制」、「地域活性化」がやや下降している。

図表 4 満足度（点数順）

順位			項 目	満足度 ※1			
H24	H25			H25	H24	増減 (H25-H24)	
1	1		(自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	→	3.55	3.55	0.00
2	2		(学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	↗	3.47	3.41	0.06
4	3	↑	(衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	→	3.38	3.34	0.04
5	4	↑	(上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	↗	3.36	3.31	0.05
3	5	↓	(保健・医療) 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	↘	3.29	3.34	▲ 0.05
9	6	↑	(子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	↗	3.25	3.18	0.07
6	7	↓	(生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	→	3.22	3.26	▲ 0.04
12	8	↑	(社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	↗	3.21	3.15	0.06
8	9	↓	(スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	→	3.20	3.20	0.00
7	10	↓	(住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↘	3.17	3.22	▲ 0.05
11	11		(交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	→	3.14	3.17	▲ 0.03
10	12	↓	(芸術・文化) 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↘	3.12	3.17	▲ 0.05
13	13		(地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	→	3.09	3.10	▲ 0.01
15	14	↑	(参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力を感じる、温かみのある地域づくりについて	→	2.96	2.98	▲ 0.02
14	15	↓	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	↘	2.96	3.03	▲ 0.07
16	16		(協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	→	2.94	2.98	▲ 0.04
17	17		(地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↘	2.91	2.96	▲ 0.05
19	18	↑	(市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	↗	2.84	2.78	0.06
20	19	↑	(行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	↗	2.83	2.77	0.06
18	20	↓	(公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	→	2.78	2.81	▲ 0.03
21	21		(産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について	→	2.67	2.67	0.00
22	22		(観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	→	2.65	2.64	0.01
23	23		(産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	→	2.60	2.64	▲ 0.04
24	24		(就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	→	2.38	2.40	▲ 0.02

※1) 満足度の矢印の説明

前年比+0.15 以上＝↑（上昇）

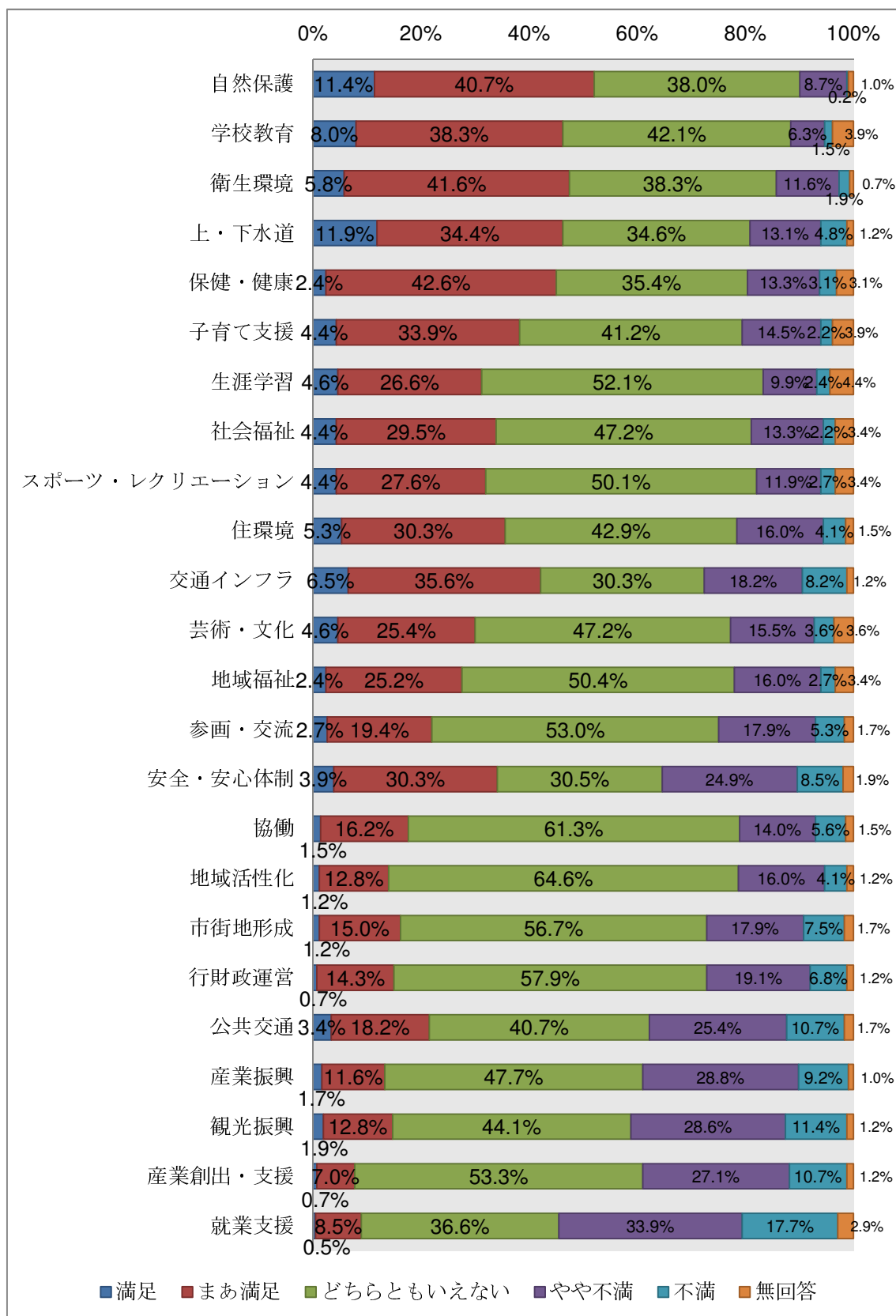
前年比+0.05 以上+0.15 未満＝↗（やや上昇）

前年比-0.05 以上+0.05 未満＝→（横ばい）

前年比-0.15 以上 0.05 未満＝↘（やや下降）

前年比-0.15 未満＝↓（下降）

2.1.2 満足度における選択肢別の回答割合



2.1.3 重要の度合い

重要度の高い項目は、「安全・安心体制」が 4.45（昨年度：4.37）、「子育て支援」が 4.45（昨年度：4.32）、「就業支援」が 4.44（昨年度：4.38）となっている。

一方、重要度の低い項目は「スポーツ・レクリエーション」が 3.61（昨年度：3.52）、「市街地形成」が 3.61（昨年度：3.48）「芸術・文化」が 3.62（昨年度：3.50）となっている。

昨年度と比較すると、全体的に重要度が上昇しており、中でも「公共交通」、「産業創出・支援」、「協働」の上昇度合いが高くなっている。

図表 6 重要度（点数順）

順位			項 目	重要度 ※1			
H24	H25			H25	H24	増減 (H25-H24)	
2	1	↑	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	↗	4.45	4.37	0.08
4	2	↑	(子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	↗	4.45	4.32	0.13
1	3	↓	(就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	↗	4.44	4.38	0.06
3	4	↓	(保健・医療) 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	→	4.35	4.34	0.01
5	5		(学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	→	4.23	4.19	0.04
6	6		(社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	→	4.18	4.15	0.03
13	7	↑	(公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↑	4.13	3.98	0.15
8	8		(産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について	→	4.11	4.10	0.01
7	9	↓	(衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	→	4.11	4.11	0.00
12	10	↑	(交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	↗	4.09	4.00	0.09
10	11	↓	(地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	→	4.07	4.03	0.04
16	12	↑	(産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	↑	4.04	3.87	0.17
9	13	↓	(上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	→	4.04	4.03	0.01
11	14	↓	(行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	→	3.98	4.00	▲ 0.02
14	15	↓	(観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	↗	3.95	3.90	0.05
17	16	↑	(参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	↗	3.94	3.87	0.07
15	17	↓	(自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	→	3.90	3.89	0.01
19	18	↑	(協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	↑	3.87	3.71	0.16
18	19	↓	(生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	↗	3.82	3.75	0.07
21	20	↑	(地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↗	3.76	3.66	0.10
20	21	↓	(住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↗	3.75	3.70	0.05
23	22	↑	(芸術・文化) 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↗	3.62	3.50	0.12
24	23	↑	(市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	↗	3.61	3.48	0.13
22	24	↓	(スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	↗	3.61	3.52	0.09

※1) 重要度の矢印の説明

前年比+0.15 以上＝↑（上昇）

前年比+0.05 以上+0.15 未満＝↗（やや上昇）

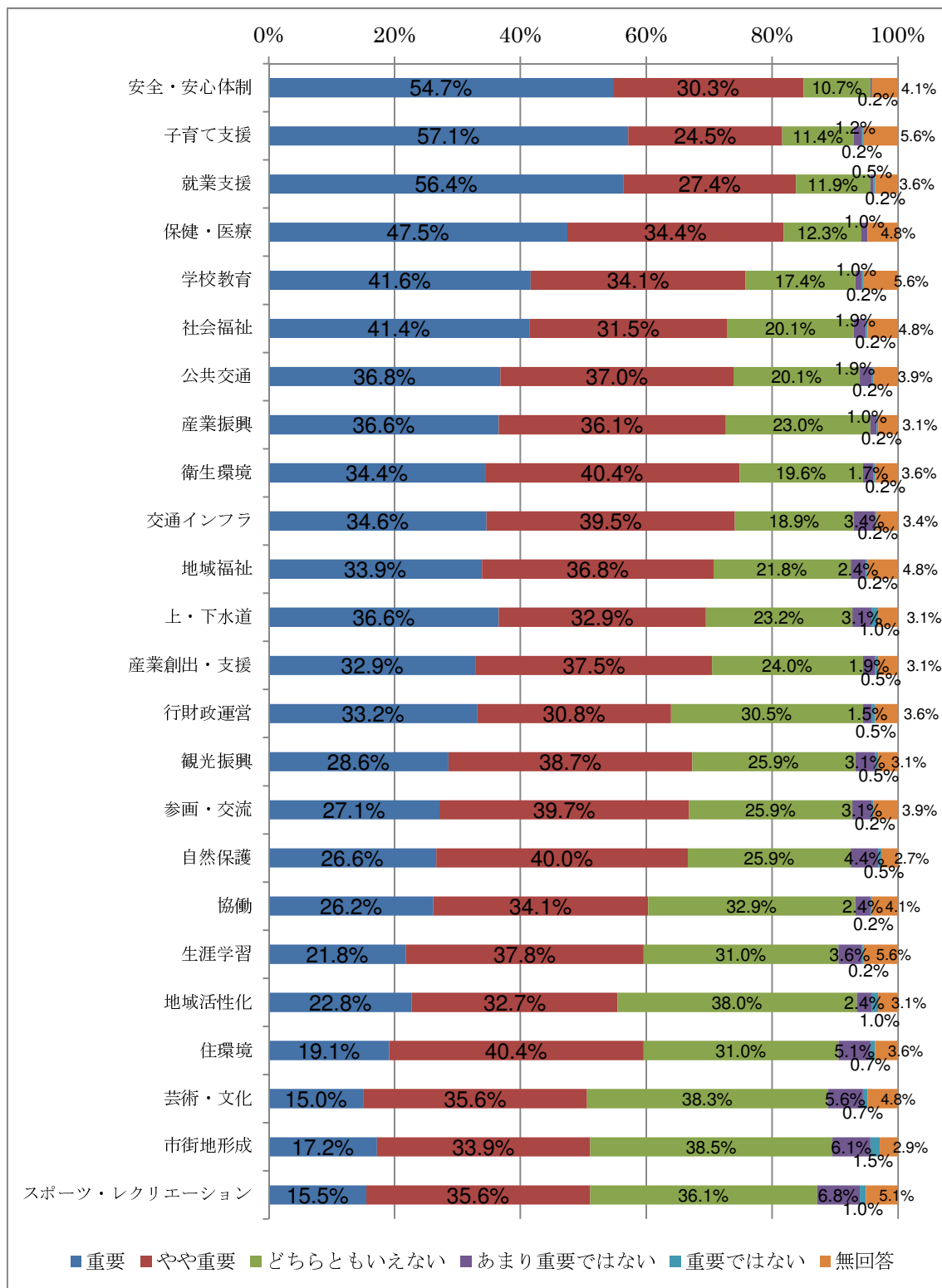
前年比-0.05 以上+0.05 未満＝→（横ばい）

前年比-0.15 以上 0.05 未満＝↘（やや下降）

前年比-0.15 未満＝↓（下降）

2.1.4 重要度における選択肢別の回答割合

図表 7 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.1.5 満足度および重要度の属性別比較

図表 8 性別による満足度・重要度

■ 男性

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.50
2	学校教育	3.41
3	衛生環境	3.40
4	上・下水道	3.34
5	住環境	3.16

(下位)

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.73
21	観光振興	2.56
22	産業振興	2.54
23	産業創出・支援	2.43
24	就業支援	2.34

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.42
2	安全・安心体制	4.40
3	就業支援	4.39
4	保健・医療	4.26
5	産業振興	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
20	地域活性化	3.73
21	住環境	3.61
22	市街地形成	3.60
23	芸術・文化	3.54
24	スポーツ・レクリエーション	3.53

■ 女性

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.59
2	学校教育	3.53
3	保健・医療	3.40
4	衛生環境	3.37
5	上・下水道	3.37

(下位)

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.82
21	産業振興	2.79
22	産業創出・支援	2.74
23	観光振興	2.73
24	就業支援	2.43

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.49
2	就業支援	4.48
3	子育て支援	4.47
4	保健・医療	4.42
5	学校教育	4.30

(下位)

順位	項目	重要度
20	住環境	3.86
21	地域活性化	3.78
22	芸術・文化	3.68
23	スポーツ・レクリエーション	3.68
24	市街地形成	3.63

図表 9 年代別による満足度・重要度

■10代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.47
2	自然保護	3.47
3	保健・医療	3.32
4	学校教育	3.32
5	衛生環境	3.26

(下位)

順位	項目	満足度
20	産業創出・支援	2.79
	観光振興	2.79
22	安全・安心体制	2.68
23	交通インフラ	2.63
24	就業支援	2.58

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.42
2	安全・安心体制	4.37
3	子育て支援	4.26
4	保健・医療	4.21
	社会福祉	4.21

(下位)

順位	項目	重要度
19	芸術・文化	3.74
	公共交通	3.74
21	協働	3.68
22	地域活性化	3.68
23	スポーツ・レクリエーション	3.58
24	市街地形成	3.53

■20代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.82
2	上・下水道	3.53
3	学校教育	3.43
4	衛生環境	3.37
5	社会福祉	3.31
	住環境	3.31

(下位)

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.67
21	産業振興	2.65
22	観光振興	2.55
23	産業創出・支援	2.47
24	就業支援	2.27

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.65
2	子育て支援	4.48
3	安全・安心体制	4.47
4	保健・医療	4.38
5	観光振興	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
20	住環境	3.94
21	地域活性化	3.91
22	スポーツ・レクリエーション	3.73
23	芸術・文化	3.56
24	市街地形成	3.54

■30代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.69
2	学校教育	3.49
3	衛生環境	3.43
4	上・下水道	3.29
5	保健・医療	3.24

(下位)

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.67
21	産業創出・支援	2.58
22	産業振興	2.57
23	観光振興	2.57
24	就業支援	2.22

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.75
2	安全・安心体制	4.47
3	保健・医療	4.42
4	就業支援	4.40
5	社会福祉	4.27

(下位)

順位	項目	重要度
20	住環境	3.81
21	市街地形成	3.76
22	地域活性化	3.76
23	芸術・文化	3.67
24	スポーツ・レクリエーション	3.61

■40代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.56
2	学校教育	3.55
3	保健・医療	3.27
4	子育て支援	3.27
5	上・下水道	3.26
	衛生環境	3.26

(下位)

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.64
21	産業振興	2.52
22	産業創出・支援	2.51
23	観光振興	2.38
24	就業支援	2.26

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.58
2	安全・安心体制	4.58
3	就業支援	4.55
4	学校教育	4.46
5	保健・医療	4.42

(下位)

順位	項目	重要度
20	芸術・文化	3.77
21	住環境	3.77
22	地域活性化	3.72
23	スポーツ・レクリエーション	3.70
24	市街地形成	3.47

■50代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.50
2	自然保護	3.45
3	衛生環境	3.41
4	上・下水道	3.31
5	保健・医療	3.28

(下位)

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.79
21	観光振興	2.78
22	産業振興	2.74
23	産業創出・支援	2.64
24	就業支援	2.46

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.45
2	就業支援	4.44
3	保健・医療	4.30
4	子育て支援	4.23
5	産業振興	4.15

(下位)

順位	項目	重要度
20	地域活性化	3.65
21	芸術・文化	3.61
22	市街地形成	3.57
23	住環境	3.53
24	スポーツ・レクリエーション	3.47

■60代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.45
2	自然保護	3.45
3	上・下水道	3.40
4	衛生環境	3.40
5	保健・医療	3.39

(下位)

順位	項目	満足度
20	観光振興	2.79
21	市政運営	2.79
22	産業振興	2.71
23	産業創出・支援	2.65
24	就業支援	2.53

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.49
2	安全・安心体制	4.46
3	就業支援	4.42
4	学校教育	4.36
5	保健・医療	4.32

(下位)

順位	項目	重要度
20	地域活性化	3.79
21	生涯学習	3.73
22	市街地形成	3.63
23	スポーツ・レクリエーション	3.62
24	芸術・文化	3.57

■70代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.74
2	衛生環境	3.50
3	自然保護	3.48
4	学校教育	3.47
5	子育て支援	3.41

(下位)

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.84
21	産業振興	2.74
22	観光振興	2.74
23	産業創出・支援	2.65
24	就業支援	2.45

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.28
2	安全・安心体制	4.23
3	就業支援	4.18
4	上・下水道	4.18
5	学校教育	4.17

(下位)

順位	項目	重要度
20	住環境	3.65
21	スポーツ・レクリエーション	3.61
22	観光振興	3.55
23	生涯学習	3.49
24	芸術・文化	3.39

※ 80代以上については、回答者がありませんでした。

図表 10 地域別による満足度・重要度

■大曲地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.47
2	学校教育	3.46
3	上・下水道	3.39
4	衛生環境	3.32
5	保健・医療	3.25

(下位)

順位	項目	満足度
20	市街地形成	2.80
21	産業振興	2.67
22	観光振興	2.62
23	産業創出・支援	2.55
24	就業支援	2.49

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.49
2	保健・医療	4.45
3	子育て支援	4.43
4	就業支援	4.31
5	学校教育	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
20	市街地形成	3.86
21	生涯学習	3.83
22	地域活性化	3.79
23	芸術・文化	3.72
24	スポーツ・レクリエーション	3.68

■神岡地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.95
2	学校教育	3.80
3	交通インフラ	3.71
4	上・下水道	3.68
5	住環境	3.54

(下位)

順位	項目	満足度
20	市政運営	2.78
21	産業振興	2.73
22	観光振興	2.71
23	産業創出・支援	2.66
24	就業支援	2.37

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.53
2	子育て支援	4.51
3	就業支援	4.50
4	学校教育	4.38
5	交通インフラ	4.28

(下位)

順位	項目	重要度
20	地域活性化	3.69
21	スポーツ・レクリエーション	3.67
22	住環境	3.66
23	芸術・文化	3.54
24	市街地形成	3.33

■西仙北地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.56
2	子育て支援	3.53
3	自然保護	3.51
4	衛生環境	3.51
5	生涯学習	3.50

(下位)

順位	項目	満足度
20	市街地形成	2.83
21	観光振興	2.71
22	産業振興	2.69
23	産業創出・支援	2.66
24	就業支援	2.41

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.62
2	安全・安心体制	4.41
3	子育て支援	4.35
4	地域福祉	4.29
5	保健・医療	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
20	スポーツ・レクリエーション	3.82
21	観光振興	3.82
22	芸術・文化	3.74
23	住環境	3.69
24	市街地形成	3.66

■中仙地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.59
2	学校教育	3.50
3	保健・医療	3.34
4	生涯学習	3.28
5	衛生環境	3.27

(下位)

順位	項目	満足度
20	産業振興	2.68
21	産業創出・支援	2.68
22	公共交通	2.65
23	観光振興	2.62
24	就業支援	2.32

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.49
2	子育て支援	4.45
3	安全・安心体制	4.36
4	社会福祉	4.35
5	保健・医療	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
20	協働	3.70
21	スポーツ・レクリエーション	3.60
22	住環境	3.60
23	芸術・文化	3.53
24	市街地形成	3.38

■協和地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.70
2	自然保護	3.53
3	交通インフラ	3.51
4	衛生環境	3.51
5	子育て支援	3.24

(下位)

順位	項目	満足度
20	産業創出・支援	2.69
21	産業振興	2.64
	観光振興	2.64
22	公共交通	2.44
24	就業支援	2.29

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.60
2	安全・安心体制	4.59
3	公共交通	4.37
4	子育て支援	4.32
5	社会福祉	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
20	住環境	3.53
21	地域活性化	3.53
22	市街地形成	3.47
23	スポーツ・レクリエーション	3.37
24	芸術・文化	3.35

■南外地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.47
2	自然保護	3.40
3	住環境	3.40
4	スポーツ・レクリエーション	3.27
5	保健・医療	3.20
	生涯学習	3.20

(下位)

順位	項目	満足度
	地域福祉	2.73
20	市街地形成	2.73
	市政運営	2.73
21	産業振興	2.67
22	産業創出・支援	2.60
23	公共交通	2.60
24	就業支援	2.20

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.86
2	社会福祉	4.67
3	保健・医療	4.53
4	上・下水道	4.53
5	安全・安心体制	4.53

(下位)

順位	項目	重要度
20	住環境	3.93
21	スポーツ・レクリエーション	3.87
22	芸術・文化	3.73
23	市街地形成	3.73
24	自然保護	3.67

■仙北地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	衛生環境	3.57
2	自然保護	3.51
3	学校教育	3.43
4	社会福祉	3.41
5	子育て支援	3.32

(下位)

順位	項目	満足度
20	市政運営	2.76
21	産業振興	2.73
22	観光振興	2.69
23	就業支援	2.41
24	産業創出・支援	2.35

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.54
2	安全・安心体制	4.49
3	就業支援	4.40
4	保健・医療	4.31
5	参画・交流	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
20	生涯学習	3.80
21	住環境	3.80
22	芸術・文化	3.60
23	市街地形成	3.60
24	スポーツ・レクリエーション	3.57

■太田地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.53
2	学校教育	3.45
3	上・下水道	3.44
4	衛生環境	3.38
5	子育て支援	3.32

(下位)

順位	項目	満足度
20	市街地形成	2.72
21	観光振興	2.69
22	市政運営	2.68
23	産業振興	2.66
24	就業支援	2.27

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.59
2	子育て支援	4.47
3	保健・医療	4.32
4	安全・安心体制	4.26
5	学校教育	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
20	地域活性化	3.59
21	協働	3.55
22	芸術・文化	3.52
23	市街地形成	3.28
24	スポーツ・レクリエーション	3.19

2.1.6 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、「就業支援」が 2.06（昨年度：1.98）、「産業振興」が 1.52（昨年度：1.43）、「安全・安心体制」が 1.49（昨年度：1.35）となっている。

昨年度と比較すると、「安全・安心体制」、「公共交通」、「協働」、「地域活性化」、「芸術・文化」の上昇度合いが高くなっている。

図表 11 項目別要望度 (重要度一満足度) (点数順)

順位		項 目	要望度 ※1			
H24	H25		H25	H24	増減 (H25-H24)	
1	1	(就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	↗	2.06	1.98	0.08
2	2	(産業振興) 農林業・商工業を中心とした産業振興について	↗	1.52	1.43	0.09
3	3	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	↑	1.49	1.35	0.15
5	4	↑ (産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	↗	1.36	1.23	0.13
7	5	↑ (公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↑	1.35	1.17	0.18
4	6	↓ (観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	→	1.30	1.26	0.04
8	7	↑ (子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	↗	1.20	1.14	0.07
6	8	↓ (行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	↘	1.15	1.23	▲0.07
10	9	↑ (保健・医療) 健康増進、介護予防にすんで取り組める環境や医療体制について	↗	1.06	1.00	0.06
12	10	↑ (参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	↗	0.98	0.88	0.10
11	11	(地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	→	0.98	0.93	0.05
9	12	↓ (社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	→	0.96	1.01	▲0.04
13	13	(交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	↗	0.94	0.82	0.12
16	14	↑ (協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	↑	0.93	0.73	0.20
19	15	↑ (地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↑	0.85	0.70	0.15
18	16	↑ (市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	↗	0.77	0.70	0.07
14	17	↓ (学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	→	0.76	0.78	▲0.02
15	18	↓ (衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	→	0.73	0.77	▲0.04
17	19	↓ (上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	→	0.68	0.72	▲0.03
20	20	(生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	↗	0.60	0.49	0.11
21	21	(住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↗	0.58	0.48	0.10
23	22	↑ (芸術・文化) 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↑	0.49	0.33	0.16
24	23	↑ (スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	↗	0.41	0.32	0.09
22	24	↓ (自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	→	0.36	0.34	0.02

※1) 要望度の矢印の説明

前年比+0.15 以上＝↑ (上昇)

前年比+0.05 以上+0.15 未満＝↗ (やや上昇)

前年比-0.05 以上+0.05 未満＝→ (横ばい)

前年比-0.15 以上 0.05 未満＝↘ (やや下降)

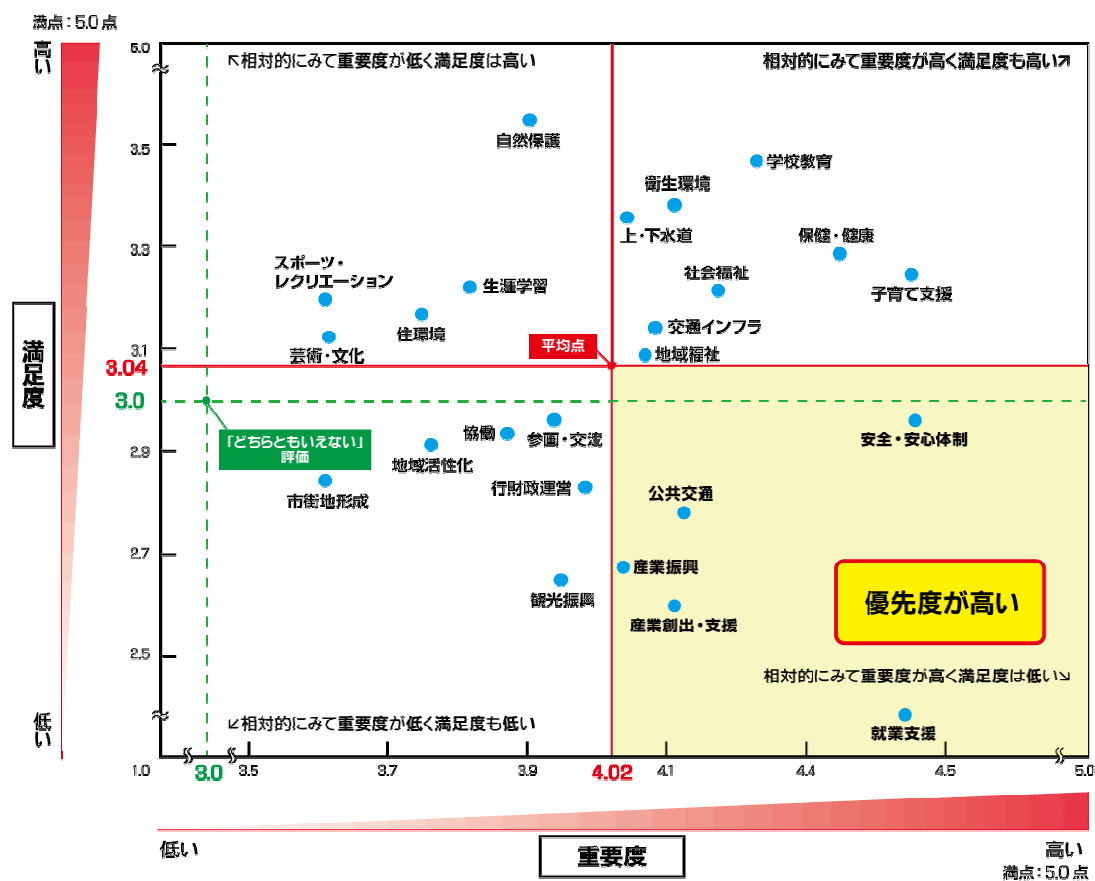
前年比-0.15 未満＝↓ (下降)

2.1.7 散布図

図表 12 の散布図は、満足度を縦軸とし、重要度を横軸に 24 項目の位置を描いたものである。図の左下に位置するほど満足度も低く重要度も低い項目となり、逆に図の右上に位置するほど満足度が高く重要度も高い項目であることを意味している。

相対的にみて、要望度（優先度）が高い施策（重要度は高いが満足度は低い）は、「就業支援」、「産業創出・支援」、「産業振興」、「公共交通」、「安全・安心体制」となっている。

図表 12 満足度・重要度の項目別比較



2.1.8 満足度および重要度の総括

〈満足の度合い〉

- ・ 満足度の高い項目は「自然保護」が 3.55（昨年度：3.55）、「学校教育」が 3.47（昨年度：3.41）、「衛生環境」が 3.38（昨年度：3.34）となっている。一方、満足度の低い項目は、昨年度同様「就業支援」が 2.38（昨年度：2.40）、「産業創出・支援」が 2.60（昨年度：2.64）、「観光振興」が 2.65（昨年度：2.64）となっている。
- ・ 昨年度と比較すると、どの項目も小幅な増減となっており、「保健・医療」、「住環境」、「芸術・文化」、「安全・安心体制」、「地域活性化」がやや下降している。

〈重要の度合い〉

- ・ 重要度の高い項目は、「安全・安心体制」が 4.45（昨年度：4.37）、「子育て支援」が 4.45（昨年度：4.32）、「就業支援」が 4.44（昨年度：4.38）となっている。一方、重要度の低い項目は「スポーツ・レクリエーション」が 3.61（昨年度：3.52）、「市街地形成」が 3.61（昨年度：3.48）「芸術・文化」が 3.62（昨年度：3.50）となっている。
- ・ 昨年度と比較すると、全体的に重要度が上昇しており、中でも「公共交通」、「産業創出・支援」、「協働」の上昇度合いが高くなっている。

〈要望の度合い（優先度）〉

- ・ 要望度の高い項目は、「就業支援」が 2.06（昨年度：1.98）、「産業振興」が 1.52（昨年度：1.43）、「安全・安心体制」が 1.49（昨年度：1.35）となっている。
- ・ 昨年度と比較すると、「安全・安心体制」、「公共交通」、「協働」、「地域活性化」、「芸術・文化」の上昇度合いが高くなっている。

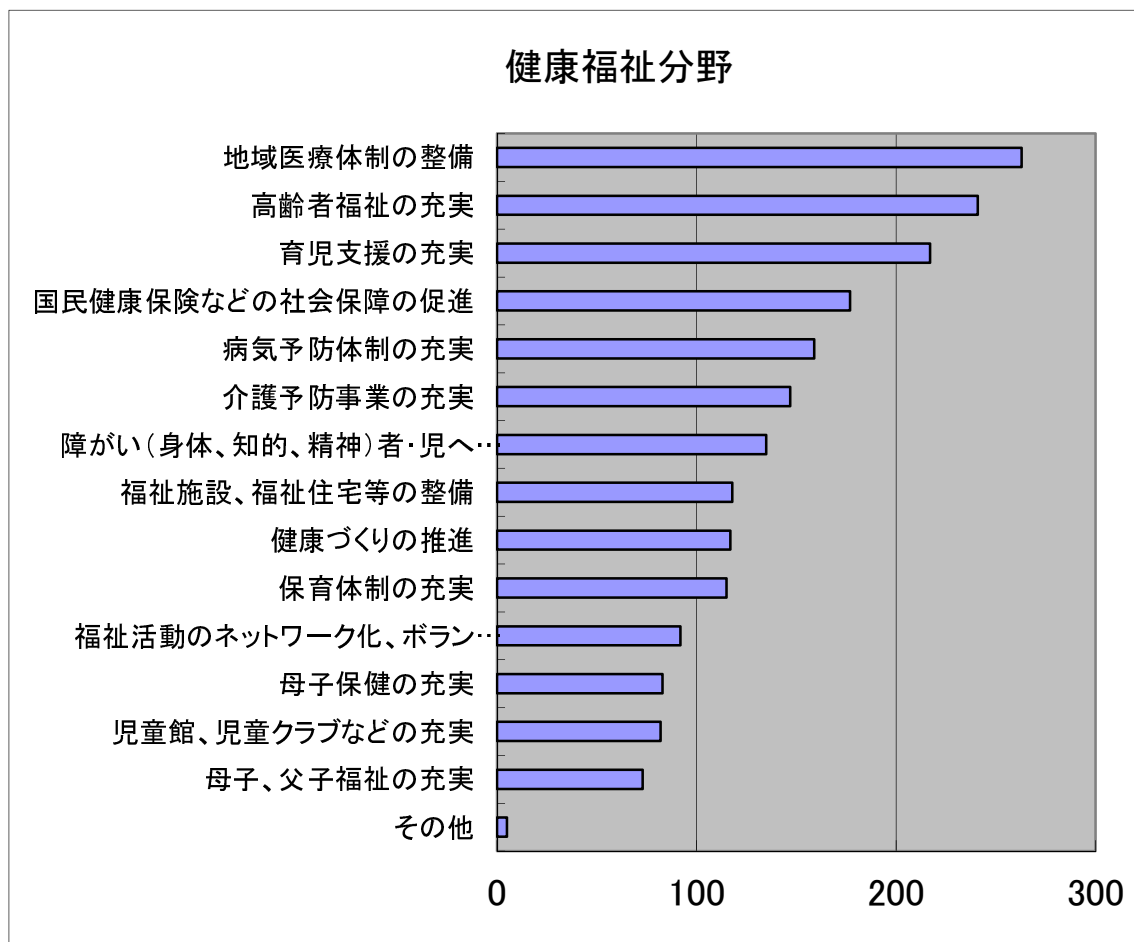
2.2 さらに推進すべき取り組み分析

2.2.1 健康福祉分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「地域医療体制の整備」、「高齢者福祉の充実」、「育児支援の充実」となっている。

一方、下位は「母子、父子福祉の充実」、「児童館、児童クラブなどの充実」、「母子保健の充実」となっている。

図表 13 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 14 年代別による「さらに推進すべき取り組み」(上位)

■10代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	13
2	育児支援の充実	12
3	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	11
4	病気予防体制の充実	9
	高齢者福祉の充実	9

■20代

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	34
2	高齢者福祉の充実	30
3	地域医療体制の整備	26
4	病気予防体制の充実	18
5	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	17
	国民健康保険などの社会保障の促進	17

■30代

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	55
2	地域医療体制の整備	42
3	高齢者福祉の充実	33
4	保育体制の充実	28
5	病気予防体制の充実	26

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	41
2	高齢者福祉の充実	37
3	育児支援の充実	27
4	国民健康保険などの社会保障の促進	25
	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	21

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	55
2	高齢者福祉の充実	49
3	育児支援の充実	36
4	介護予防事業の充実	35
5	病気予防体制の充実	33

■60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	61
2	高齢者福祉の充実	51
3	国民健康保険などの社会保障の促進	49
4	育児支援の充実	39
5	介護予防事業の充実	38

■70代

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	30
2	国民健康保険などの社会保障の促進	25
3	地域医療体制の整備	23
4	健康づくりの推進	20
5	介護予防事業の充実	18

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 15 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	90
2	高齢者福祉の充実	89
3	育児支援の充実	84
4	病気予防体制の充実	65
5	国民健康保険などの社会保障の促進	64

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	27
2	育児支援の充実	24
3	国民健康保険などの社会保障の促進	22
4	高齢者福祉の充実	20
5	健康づくりの推進	19
	病気予防体制の充実	19

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	24
2	高齢者福祉の充実	20
3	国民健康保険などの社会保障の促進	17
4	病気予防体制の充実	16
5	育児支援の充実	15
	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	45
2	地域医療体制の整備	44
3	育児支援の充実	33
4	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	26
5	介護予防事業の充実	23
	国民健康保険などの社会保障の促進	23

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	26
2	高齢者福祉の充実	19
3	病気予防体制の充実	16
	国民健康保険などの社会保障の促進	16
5	育児支援の充実	13
	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	10
2	高齢者福祉の充実	9
	地域医療体制の整備	7
3	国民健康保険などの社会保障の促進	7
	福祉施設、福祉住宅等の整備	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	23
2	育児支援の充実	22
3	高齢者福祉の充実	21
4	保育体制の充実	16
5	介護予防事業の充実	13

■太田地域

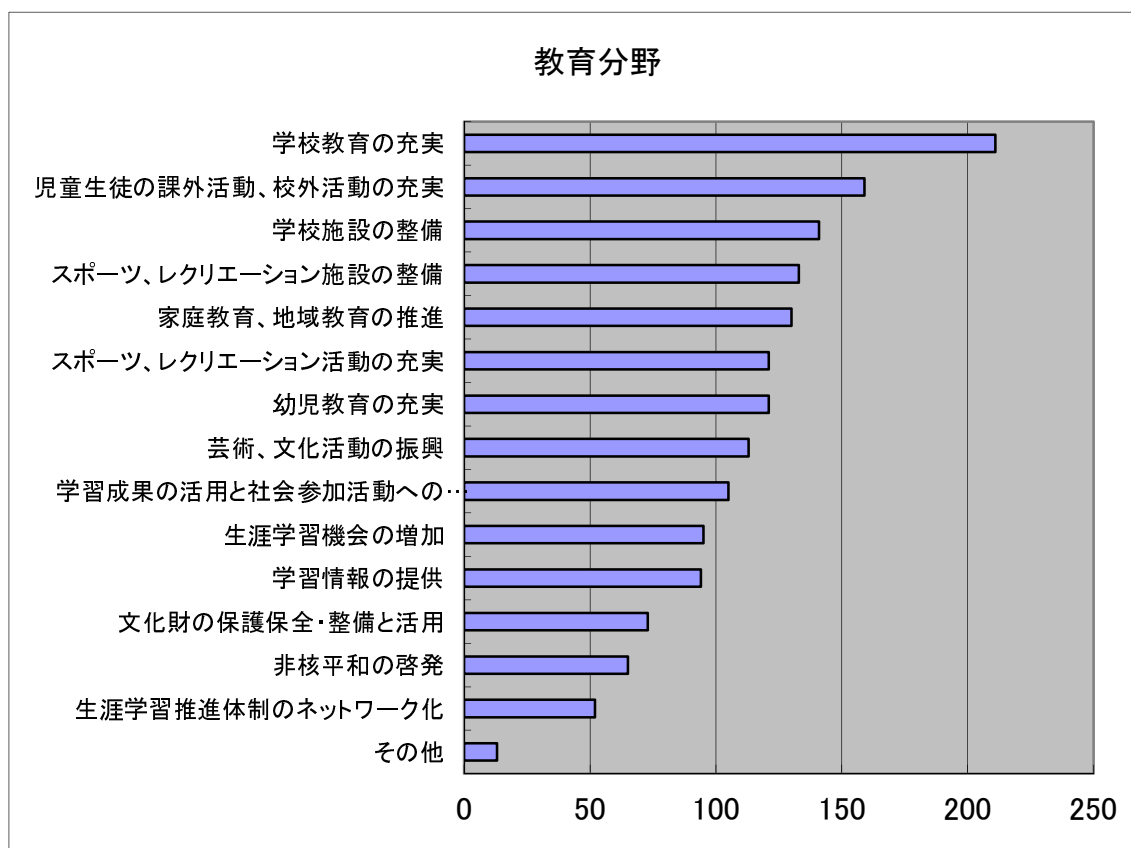
順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	19
2	高齢者福祉の充実	17
	育児支援の充実	15
3	国民健康保険などの社会保障の促進	15
5	病気予防体制の充実	9
	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	9

2.2.2 教育分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「学校教育の充実」、「児童生徒の課外活動、校外活動の充実」、「学校施設の整備」となっている。

一方、下位は「生涯学習推進体制とネットワーク化」、「非核平和の啓発」、「文化財の保護保全・整備と活用」となっている。

図表 16 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 17 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■ 10代

順位	項目	回答数
	学校教育の充実	12
1	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	9
	幼児教育の充実	8
4	学校施設の整備	8
5	芸術、文化活動の振興	8

■ 20代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	25
2	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	20
3	スポーツ、レクリエーション活動の充実	19
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	19
5	幼児教育の充実	15

■ 30代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	38
2	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	29
3	学校施設の整備	28
4	家庭教育、地域教育の推進	25
5	幼児教育の充実	21
	芸術、文化活動の振興	21

■ 40代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	33
2	学校施設の整備	28
3	スポーツ、レクリエーション施設の整備	26
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	22
5	学習情報の提供	18

■ 50代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	39
2	家庭教育、地域教育の推進	27
2	スポーツ、レクリエーション施設の整備	27
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	26
	芸術、文化活動の振興	26

■ 60代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	44
2	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	37
3	スポーツ、レクリエーション活動の充実	33
4	幼児教育の充実	32
5	家庭教育、地域教育の推進	31

■ 70代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	18
2	非核平和の啓発	15
	家庭教育、地域教育の推進	14
3	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	14
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	14

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 18 地域別による「さらに推進すべき取り組み」(上位)

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	82
2	学校施設の整備	68
3	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	52
4	家庭教育、地域教育の推進	45
	芸術、文化活動の振興	45
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	45

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	21
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	21
3	家庭教育、地域教育の推進	15
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	15
5	幼児教育の充実	14
	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	14
	学習情報の提供	14

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	17
2	学校教育の充実	16
3	家庭教育、地域教育の推進	14
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	14
5	芸術、文化活動の振興	13
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	13

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	37
2	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	27
3	学校施設の整備	23
4	スポーツ、レクリエーション活動の充実	22
5	幼児教育の充実	21

■協和地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	16
2	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	11
	学習成果の活用と社会参加活動への支援	11
4	家庭教育、地域教育の推進	10
	学校施設の整備	10
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	10

■南外地域

順位	項目	回答数
1	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	8
2	学校教育の充実	7
	幼児教育の充実	7
	家庭教育、地域教育の推進	7
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	7
		7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	16
	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	16
3	幼児教育の充実	15
4	学習成果の活用と社会参加活動への支援	12
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	12

■太田地域

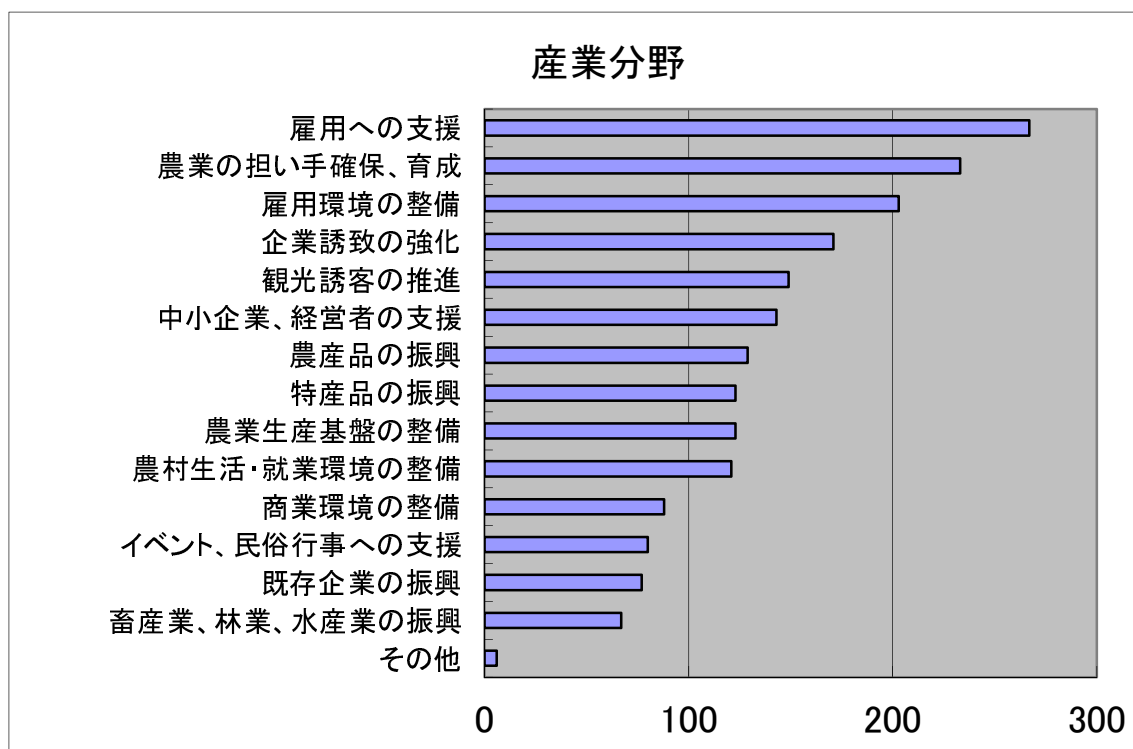
順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	14
2	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	13
3	家庭教育、地域教育の推進	10
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	10
5	幼児教育の充実	8
	芸術、文化活動の振興	8

2.2.3 産業分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、昨年度同様「雇用への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「雇用環境の整備」となっている。

一方、下位は「畜産業、林業、水産業の振興」、「既存企業の振興」、「イベント、民俗行事への支援」となっている。

図表 19 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 20 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	15
2	農業の担い手確保、育成	13
3	観光誘客の推進	9
4	中小企業、経営者の支援	8
5	農産品の振興	7
	農村生活・就業環境の整備	7
	雇用環境の整備	7

■20代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	30
2	農業の担い手確保、育成	26
3	雇用環境の整備	23
4	観光誘客の推進	20
5	農産品の振興	16
	中小企業、経営者の支援	16

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	43
2	雇用環境の整備	37
3	農業の担い手確保、育成	35
4	企業誘致の強化	29
5	中小企業、経営者の支援	28
	観光誘客の推進	28

■40代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	38
2	雇用環境の整備	33
3	企業誘致の強化	24
4	観光誘客の推進	23
5	農業の担い手確保、育成	22

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	59
2	農業の担い手確保、育成	46
3	雇用環境の整備	44
4	企業誘致の強化	41
5	特産品の振興	34

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	61
2	雇用への支援	51
3	雇用環境の整備	40
4	企業誘致の強化	37
5	観光誘客の推進	34

■70代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	29
2	農業の担い手確保、育成	28
3	企業誘致の強化	21
4	農村生活・就業環境の整備	20
5	雇用環境の整備	17
	農業生産基盤の整備	14

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 21 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	93
2	農業の担い手確保、育成	87
3	雇用環境の整備	71
4	観光誘客の推進	61
5	中小企業、経営者の支援	58

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	23
2	農業の担い手確保、育成	22
3	雇用環境の整備	18
	企業誘致の強化	17
	農村生活・就業環境の整備	14

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	27
	農業の担い手確保、育成	22
3	雇用環境の整備	18
4	企業誘致の強化	17
5	イベント、民俗行事への支援	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	38
2	農業の担い手確保、育成	35
3	雇用環境の整備	32
4	企業誘致の強化	31
5	農村生活・就業環境の整備	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	23
2	企業誘致の強化	20
3	雇用環境の整備	16
4	農業の担い手確保、育成	13
	農産品の振興	13
	観光誘客の推進	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	10
	雇用への支援	10
3	農業生産基盤の整備	7
	中小企業、経営者の支援	7
	雇用環境の整備	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	31
2	雇用環境の整備	25
3	農業の担い手確保、育成	23
4	企業誘致の強化	21
5	農村生活・就業環境の整備	16

■太田地域

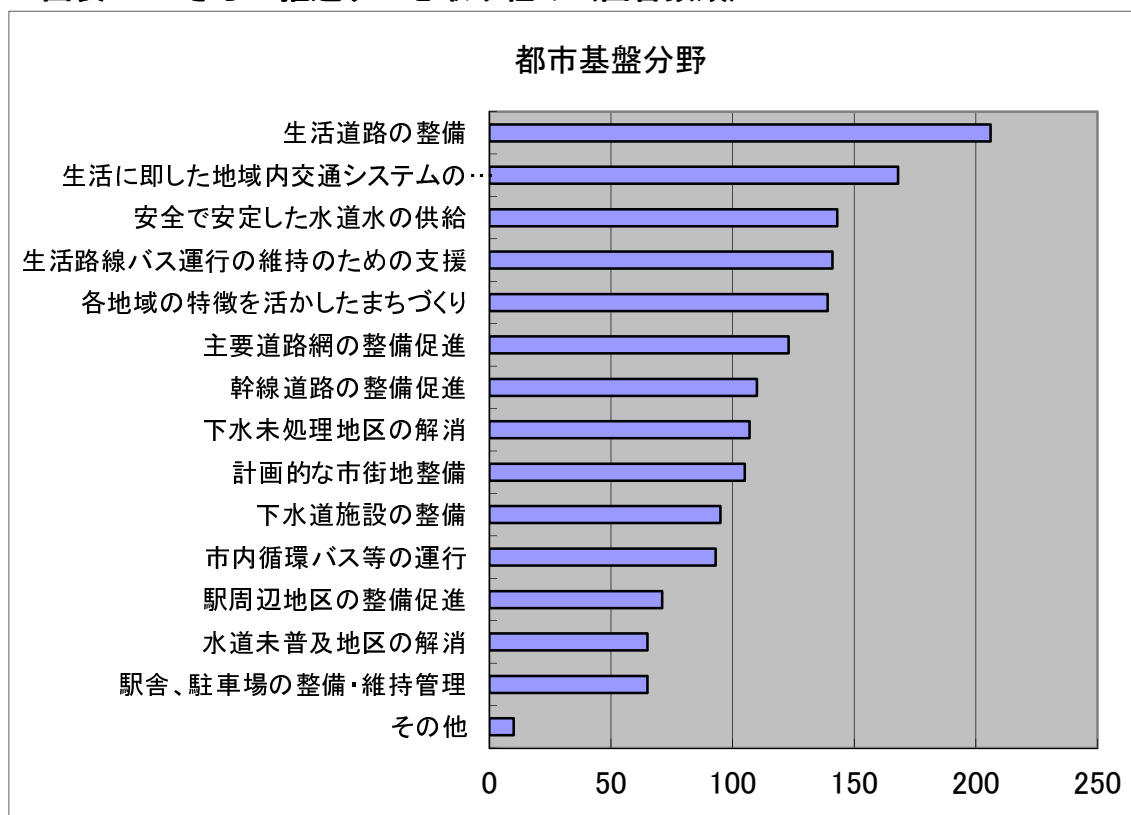
順位	項目	回答数
1	雇用への支援	19
2	農業の担い手確保、育成	17
3	雇用環境の整備	14
4	農業生産基盤の整備	12
5	農村生活・就業環境の整備	10
	観光誘客の推進	10

2.2.4 都市基盤分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「生活道路の整備」、「生活に即した地域内交通システムの確立」、「安全で安定した水道水の供給」となっている。

一方、下位は「駅舎、駐車場の整備・維持管理」、「水道未普及地区の解消」、「駅周辺地区の整備促進」となっている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	9
2	市内循環バス等の運行	8
	各地域の特徴を活かしたまちづくり	8
4	計画的な市街地整備	7
	駅舎、駐車場の整備・維持管理	6
5	生活路線バス運行の維持のための支援	6
	生活に即した地域内交通システムの確立	6
	駅周辺地区の整備促進	6

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	34
2	生活に即した地域内交通システムの確立	28
3	安全で安定した水道水の供給	27
4	各地域の特徴を活かしたまちづくり	26
5	生活路線バス運行の維持のための支援	19

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	36
	生活に即した地域内交通システムの確立	36
3	各地域の特徴を活かしたまちづくり	30
4	主要道路網の整備促進	29
5	計画的な市街地整備	28

■70代

順位	項目	回答数
1	生活路線バス運行の維持のための支援	26
2	生活道路の整備	22
3	各地域の特徴を活かしたまちづくり	17
4	市内循環バス等の運行	16
5	生活に即した地域内交通システムの確立	15

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	20
2	主要道路網の整備促進	18
3	生活に即した地域内交通システムの確立	17
4	生活路線バス運行の維持のための支援	16
5	下水道施設の整備	14

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	32
2	安全で安定した水道水の供給	28
3	生活に即した地域内交通システムの確立	27
4	生活路線バス運行の維持のための支援	18
5	幹線道路の整備促進	17

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	51
2	生活に即した地域内交通システムの確立	37
3	生活路線バス運行の維持のための支援	33
4	主要道路網の整備促進	31
5	各地域の特徴を活かしたまちづくり	30
	安全で安定した水道水の供給	30

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」(上位)

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	66
2	生活に即した地域内交通システムの確立	64
3	安全で安定した水道水の供給	52
4	主要道路網の整備促進	50
5	計画的な市街地整備	46

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	20
2	安全で安定した水道水の供給	17
3	各地域の特徴を活かしたまちづくり	14
4	生活に即した地域内交通システムの確立	13
	生活路線バス運行の維持のための支援	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	22
2	各地域の特徴を活かしたまちづくり	17
3	生活路線バス運行の維持のための支援	14
4	生活に即した地域内交通システムの確立	12
	安全で安定した水道水の供給	12

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	34
2	生活に即した地域内交通システムの確立	25
3	生活路線バス運行の維持のための支援	24
4	安全で安定した水道水の供給	21
5	主要道路網の整備促進	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活路線バス運行の維持のための支援	20
2	生活道路の整備	16
3	生活に即した地域内交通システムの確立	12
4	安全で安定した水道水の供給	11
5	主要道路網の整備促進	10
	各地域の特徴を活かしたまちづくり	10

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活に即した地域内交通システムの確立	8
2	各地域の特徴を活かしたまちづくり	8
	下水未処理地区の解消	8
4	主要道路網の整備促進	7
5	生活道路の整備	6
	幹線道路の整備促進	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	29
2	安全で安定した水道水の供給	19
3	各地域の特徴を活かしたまちづくり	18
4	生活に即した地域内交通システムの確立	16
5	幹線道路の整備促進	12

■太田地域

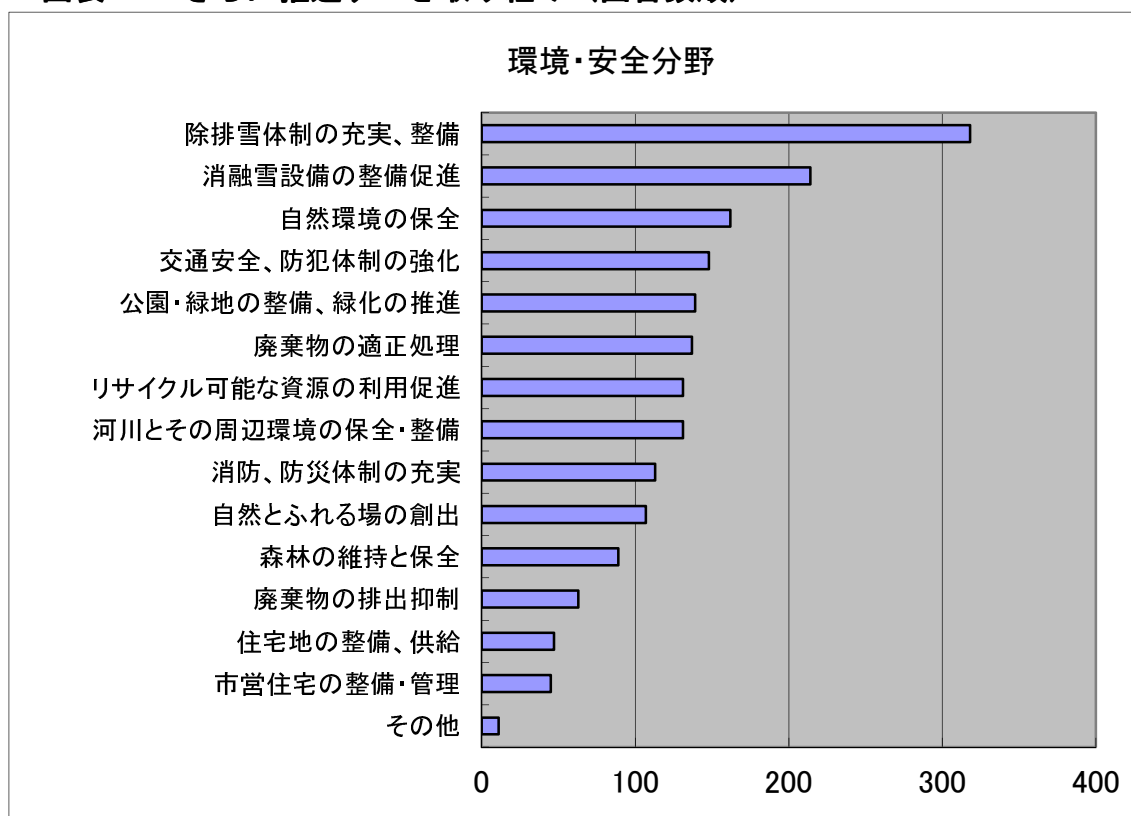
順位	項目	回答数
1	生活に即した地域内交通システムの確立	17
2	各地域の特徴を活かしたまちづくり	13
3	生活路線バス運行の維持のための支援	11
4	生活道路の整備	10
5	幹線道路の整備促進	9
	市内循環バス等の運行	9

2.2.5 環境・安全分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「除排雪体制の充実、整備」、「消融雪施設の整備促進」、「自然環境の保全」となっている。

一方、下位は昨年度同様「市営住宅の整備・管理」、「住宅地の整備、供給」、「廃棄物の排出抑制」となっている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」(上位)

■ 10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	17
2	消融雪設備の整備促進	11
3	自然環境の保全	10
4	河川とその周辺環境の保全・整備	8
	交通安全、防犯体制の強化	8

■ 20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	35
2	消融雪設備の整備促進	24
3	公園・緑地の整備、緑化の推進	23
4	自然環境の保全	20
5	交通安全、防犯体制の強化	17

■ 30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	55
2	交通安全、防犯体制の強化	37
3	消融雪設備の整備促進	34
4	公園・緑地の整備、緑化の推進	31
5	河川とその周辺環境の保全・整備	28

■ 40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	50
2	消融雪設備の整備促進	32
3	公園・緑地の整備、緑化の推進	21
4	廃棄物の適正処理	19
	リサイクル可能な資源の利用促進	19

■ 50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	59
2	消融雪設備の整備促進	46
3	廃棄物の適正処理	34
	リサイクル可能な資源の利用促進	34
5	自然環境の保全	32

■ 60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	65
2	消融雪設備の整備促進	44
3	自然環境の保全	43
4	消防、防災体制の充実	31
5	交通安全、防犯体制の強化	29

■ 70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	35
2	消融雪設備の整備促進	21
3	廃棄物の適正処理	16
	リサイクル可能な資源の利用促進	16
5	河川とその周辺環境の保全・整備	15

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」(上位)

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	115
2	消融雪設備の整備促進	94
3	公園・緑地の整備、緑化の推進	63
4	リサイクル可能な資源の利用促進	56
5	廃棄物の適正処理	50
	交通安全、防犯体制の強化	50

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	36
2	消融雪設備の整備促進	24
3	自然環境の保全	14
	廃棄物の適正処理	14
	自然とふれる場の創出	12
5	河川とその周辺環境の保全・整備	12
	消防、防災体制の充実	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	25
2	交通安全、防犯体制の強化	20
3	自然環境の保全	17
	リサイクル可能な資源の利用促進	17
5	消融雪設備の整備促進	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	45
2	自然環境の保全	26
	消融雪設備の整備促進	26
4	交通安全、防犯体制の強化	23
5	消防、防災体制の充実	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	27
2	自然環境の保全	18
3	廃棄物の適正処理	14
4	交通安全、防犯体制の強化	13
5	リサイクル可能な資源の利用促進	12

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	12
2	消融雪設備の整備促進	8
3	廃棄物の適正処理	7
4	自然環境の保全	6
	交通安全、防犯体制の強化	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	32
2	消融雪設備の整備促進	21
3	自然環境の保全	19
4	公園・緑地の整備、緑化の推進	18
	自然とふれる場の創出	15
5	河川とその周辺環境の保全・整備	15
	交通安全、防犯体制の強化	15

■太田地域

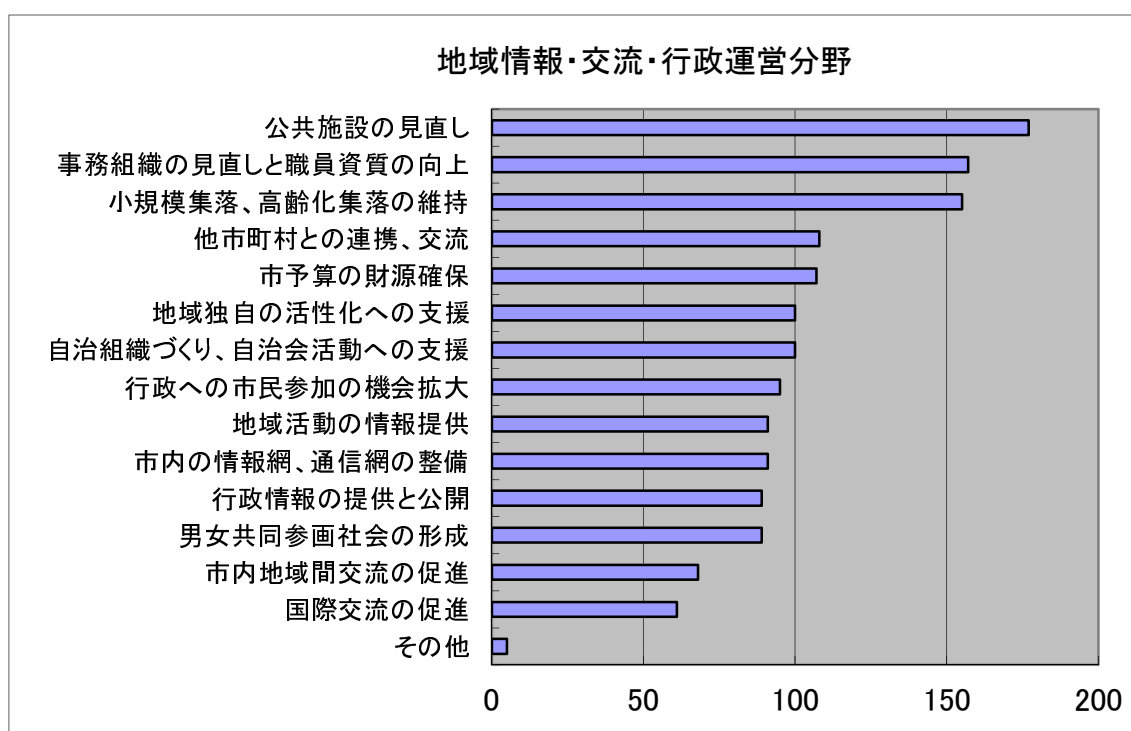
順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	22
2	自然環境の保全	13
	消融雪設備の整備促進	13
4	河川とその周辺環境の保全・整備	12
	交通安全、防犯体制の強化	12

2.2.6 地域情報・交流・行政運営分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「公共施設の見直し」、「事務組織の見直しと職員資質の向上」、「小規模集落、高齢化集落の維持」となっている。

一方、下位は昨年度同様「国際交流の促進」、「市内地域間交流の促進」、「男女共同参画社会の形成」となっている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」(上位)

■10代

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	9
	公共施設の見直し	9
	男女共同参画社会の形成	6
3	他市町村との連携、交流	6
	市内の情報網、通信網の整備	6
	地域活動の情報提供	6

■20代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	19
2	小規模集落、高齢化集落の維持	17
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	14
4	男女共同参画社会の形成	13
	市予算の財源確保	13

■30代

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	27
2	市予算の財源確保	26
3	公共施設の見直し	23
4	他市町村との連携、交流	22
	小規模集落、高齢化集落の維持	22

■40代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	28
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	23
3	市予算の財源確保	21
4	小規模集落、高齢化集落の維持	19
5	市内の情報網、通信網の整備	16

■50代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	46
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	33
3	小規模集落、高齢化集落の維持	31
4	市予算の財源確保	25
5	地域活動の情報提供	24

■60代

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	42
2	小規模集落、高齢化集落の維持	34
3	自治組織づくり、自治会活動への支援	30
4	公共施設の見直し	29
5	行政への市民参加の機会拡大	27

■70代

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	21
	公共施設の見直し	21
3	他市町村との連携、交流	14
	自治組織づくり、自治会活動への支援	14
5	市内地域間交流の促進	13

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」(上位)

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	68
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	63
3	小規模集落、高齢化集落の維持	47
4	他市町村との連携、交流	39
5	市内の情報網、通信網の整備	38

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	18
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	16
3	自治組織づくり、自治会活動への支援	15
4	市予算の財源確保	12
5	地域独自の活性化への支援	11

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	17
2	地域独自の活性化への支援	15
3	他市町村との連携、交流	13
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	12
	公共施設の見直し	12
	事務組織の見直しと職員資質の向上	12

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	28
2	公共施設の見直し	26
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	25
4	他市町村との連携、交流	20
5	市予算の財源確保	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	17
2	公共施設の見直し	16
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	13
4	市予算の財源確保	10
5	行政への市民参加の機会拡大	8
	市内の情報網、通信網の整備	8

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	9
2	自治組織づくり、自治会活動への支援	7
	公共施設の見直し	7
4	地域活動の情報提供	6
5	市予算の財源確保	5
	事務組織の見直しと職員資質の向上	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	16
	公共施設の見直し	16
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	15
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	14
	地域独自の活性化への支援	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	12
2	小規模集落、高齢化集落の維持	11
3	地域独自の活性化への支援	10
4	他市町村との連携、交流	9
	地域活動の情報提供	9

2.2.7 さらに推進すべき取り組みの総括

〈健康福祉分野〉

- ・ さらに推進すべき取り組みとして「地域医療体制の整備」、「高齢者福祉の充実」、「育児支援の充実」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代～20代では、さらに推進すべき取り組みとして「病気予防体制の充実」の回答割合が他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 60代～70代ではさらに推進すべき取り組みとして「国民健康保険などの社会保障の促進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

〈教育分野〉

- ・ さらに推進すべき取り組みとして、「学校教育の充実」、「児童生徒の課外活動、校外活動の充実」、「学校施設の整備」の回答割合が高くなっている。
- ・ 20代、40代～50代では、さらに推進すべき取り組みとして「スポーツ、レクリエーション施設の整備」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 70代では、さらに推進すべき取り組みとして「非核平和の啓発」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

〈産業分野〉

- ・ さらに推進すべき取り組みとして、昨年度同様「雇用への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「雇用環境の整備」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代～30代では、さらに推進すべき取り組みとして「中小企業、経営者の支援」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 30代～70代では、さらに推進すべき取り組みとして「企業誘致の強化」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

〈都市基盤分野〉

- ・ さらに推進すべき取り組みとして「生活道路の整備」、「生活に即した地域内交通システムの確立」、「安全で安定した水道水の供給」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代では、さらに推進すべき取り組みとして「市内循環バスの運行」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 60代～70代では、さらに推進すべき取り組みとして「生活路線バス運行の維持のための支援」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

〈環境・安全分野〉

- ・ さらに推進すべき取り組みとして「除排雪体制の充実、整備」、「消融雪施設の整備促進」、「自然環境の保全」の回答割合が高くなっている。
- ・ 20代～40代では、さらに推進すべき取り組みとして「公園・緑地の整備、緑化の推進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 40～50代、70代では、さらに推進すべき取り組みとして「廃棄物の適正処理」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

〈地域情報・交流・行政運営分野〉

- ・ さらに推進すべき取り組みとして、「公共施設の見直し」、「事務組織の見直しと職員資質の向上」、「小規模集落、高齢化集落の維持」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代～20代では、さらに推進すべき取り組みとして「男女共同参画社会の形成」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 20代～50代では、さらに推進すべき取り組みとして「市予算の財源確保」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

2.3 自由記述の類型化(抜粋)

【健康福祉分野】

① 保健・医療について

- ・ 子供が減ったのもあるが、子供の健診場所が合併になり、隣町に連れて行かないといけないので大変になった。子供が少ないけど、前の様にそれぞれの地域センターでやっている方が良かった。大曲地域の人たちは関係ないと思いますが、他の地域からしてみると、母子手帳、健診に行くのが面倒くさくなった。
- ・ 保健センター（大曲）の駐車場は職員の車でほぼ埋まっている。利用者の駐車分を確保できないなら、健（検）診は他で行ってほしい。特に子供を連れての冬場は大変だった。
- ・ 健康増進を目的とした講義の回数を増やしてもらいたい。気軽に参加できる雰囲気作りの強化を。
- ・ お年寄りの健康促進に関する施策をさらに充実させて欲しいと思います。
- ・ 現在実施されている特定健診の年齢をもう少し、20代後半か30代位から行ってほしい。働き盛りの健康を考えてください。
- ・ （70～74歳の）国民健康保険の自己負担が2割にならないことをお願いします。

② 子育て支援について

- ・ 近々出産予定です。大仙市に引っ越してきて間もないのでわからない事もありますが、以前住んでいたところの方が子育てをするには良い環境だった気がします。大仙市で出産、子育てする上で他県、他の地域と比べてメリットのある環境にしてほしいです。保健センターで話を聞いた限りでは特別メリットはないと感じました。
- ・ 家庭教育のあり方の具体的対策（自分の子供を教育出来ない親が沢山いる。

教育部署の有り様と積極的な対策がみられない)。特に教育長、委員会の不要検討。

- ・ 待機児童の解消。
- ・ 公園、公共施設の開放等特に子供たちの長い休み期間などに利用でき、又ボランティアなどで面倒を見てくださる方がおられたら、子育て中の親子さんは助かると思います。
- ・ 子育て支援事業の充実。
- ・ 子供を産み、育てやすい環境作り、支援をよろしくお願いします。子供が病気でも、仕事をしなければならない時の預け場所の確保が少ない。又、急な用事で預かっていただく支援サポートの金額も少し高いです。1日分の給料と1日の預かる金額が同等では預けられない。
- ・ 「(大曲中央保育園で実施の) すくすく」の存続(廃止案が出るのは利用者を知らなすぎる)。
- ・ 雨や雪の際、子供達の遊び場がないので、大館市比内や横手市大森にあるような福祉エリア的なものか、八峰町にある屋内でも遊べるポンポコ山あるいは北欧の森公園を合わせたような屋内でも遊べる比較的大きな建物があるといい。
- ・ 職場が遠く、子供を保育園又は病児病後託児所に預けた際に、迎えの時間に間に合わないことが多い。そのため保育時間の延長があれば助かります。
- ・ 子供の医療費を安くしてほしい。
- ・ 子供がゆうゆうと遊べる場、交流の場がほしいです。
- ・ 現在の秋田県の高齢化は、子育てを十分に支援する環境づくりで止められるものと考えている。秋田県の平均賃金は全国でも最低レベルであり、生活するのがやっとの状況で子供を産み、育てる余裕は無い。そういった事から前政権の唯一の功労であろう高校無償化は助かる家庭も多いと聞く。しかしながら、幼・小・中での給食費、教材費については支払いがある状態なので、

この点について支援（免除軽減）を市民を対象に一律実施できれば、他市町村との明確な差ができ人口増加、人口流入につながるものと考えている。

- ・ 神岡の学童保育は入りたい人なら誰でも大丈夫な感じになっているみたいですが、何を基準にしているのかがよく理解できません。親が仕事で家に不在なのは仕方がないと思いますが、祖父母の方が家にいて保育できる環境があるにもかかわらず、定員を超える児童を受け入れるのは何故でしょうか。市の職員の方は受け入れるだけで学童の先生方の大変さを理解しているのでしょうか？ただ受け入れるだけでなく現場の様子もしっかり把握する様にしていかなくてはいけないのではないかと思います。
- ・ 母親が育休となると保育園を継続入園できなくなるケースがあった。子どもにしてみれば 保→幼稚園→保（母の復帰に伴い）と施設をたらい回しにされ、かわいそうに思える。柔軟な対応をお願いしたい。
- ・ 保育費は、第三子は以前無料だったのに今は有料。もっと安くするか無料にしてほしい。
- ・ 養護保育の充実。
- ・ 今、幼児を育児中ですが、大仙市には幼児が遊べる公園が少ないと思います。同じように育児中のお母さん達と話すと、皆さんそう思っているようです。わざわざ車で 20 分かけて神岡の公園や美郷町のラベンダー公園の方まで行くしかないです。もう少し新しく公園を造っていただきたいです。今あるにはある公園も雑草が生い茂っていてジメジメしていたり、遊具が古く使用禁止のままになっていたりするので、整備していただきたいです。

③ 社会福祉について

- ・ 近い将来本格的な少子高齢化が現実となる。年金受給者や低所得者が安心して暮らせる社会を作ってほしい。
- ・ 就労支援について、障害を持っていても、もっと働きたいという方々はたくさんいます。工賃が安すぎるので、努力している方々こそきちんと評価していただき、地域と協力してもらいながら工賃 UP をめざしてもらいたいです。

- ・ 障がい者の就業支援について、もっと力を入れてもらいたい。雇用の機会及び、雇用の継続を支援する取り組みをすすめてもらい、自立(生涯を通して)をきめ細かくサポートしてほしい(要望はケースバイケース)。
- ・ 障がい者の方々の雇用機会を増やしてほしいと思う。また、作業所等での給与が少なすぎると思います。もっと健常学級との交流、共同学習の機会をつくり、障害に対する理解を深めてほしい。
- ・ 障害者の雇用先の拡大。私自身も障害(精神)者なので就職活動では、健常者の方よりも苦勞しております。特に精神障害のある方は「精神障害」と言うだけで、面接はおろか門前払いを受けている方もいると思います。私は何回も門前払いを受けてきているので、その辛さは十分承知しております。そこで市政からも強く働きかけをしてもらいたいと思います。
- ・ 生活保護の受給者はあまりにも多いと思います。この人達を将来の市政は背負っていけるのでしょうか。見直して対策を考える時が来ていると思います。
- ・ 孫が障害児福祉手当を皆様のおかげでいただいているようですが、母親が自家に使わせているのがわかり、息子とけんかになったようです。孫に皆様の大事な税金から分けていただいている、たとえ両親が亡くなっても孫が生きて行かなければならない大事なお金です。どうか今一度親たちに注意をしていただけないものかと 60 歳過ぎのばあさんの声を、福祉手当をいただいている方達にお願いします。
- ・ 精神的障害になっているのですが、仕事が出来ない状態になっています。今は協会健保からの支援を受け安心していますが、支援は1年半で、支援が終了すると病気が治っていなくても仕事をしなければなりません。病気・障害を持っている方々への充実した支援、予防体制の強化をよろしくお願いします。
- ・ 高齢化が進み、体調をくずした時等、すぐ連絡をとれる様に。また近所の人一人暮らしの人の様子を把握出来る様な方法があれば良いのではと思います。
- ・ ますます高齢化が進んでいる中で、より福祉に力を入れてほしいと感じています。高齢者の人が健康に生活を維持していけるように活動を広げていって

ほしいと思います。

- ・ 医療関係の仕事をしている者です。最近感じることは実に生活保護受給者が多くなっているということです。若い方でも一度受給するとなかなか抜け出せずにいる様な気がします。市の方でも就業できる様、適切な支援はしているとは思いますが、こういう方たちが一日も早く仕事について自立してほしいものだと思います。仕事をしている低所得者より「生保が楽」という話を耳にすることがあります。
- ・ 老後を安心して生活できる年金額を支給してほしい。国民年金をもう少し上げてほしい。
- ・ 生活が不便なところが多いです。重い買い物など高齢者の方にはつらいです。支援がもっと分かりやすくあればいいなと思います。知っている人は知っている。知らない人は不便をするというようなことが少なくなればいいなと思います。
- ・ 老人介護施設が足りず、すぐには入れないようなので市としても対策を考えてほしい。

【教育分野】

① 学校教育について

- ・ 障がい者の家族、特に兄弟姉妹の学童期における、無理解な他者によるいじめに心を痛めることがあった（特に上の子に障害のある場合、下の子には容赦しないことが多い）。地域、学校における正しい理解と、心の教育の推進に力を入れてほしいと思う。
- ・ 子供達が学校に通う時の様子を見て感じた事です、歩道の無い所で道幅の狭い所やミラーや街灯があれば良い所などを見て、事故にならない様に早めに手を打ってもらいたいと思います。

② 生涯学習について

- ・ 公民館の禁煙（学童保育の部屋の前が喫煙所なのはどうでしょうか？ふれあ

い文化センターの喫煙所の煙は図書館の児童書コーナーにすべて流れて来ます。中仙も入口からすごいです)。

- ・ ペアーレ大曲には、木のテーブルといすがあります。こしかけやすいのですが、雨の日はぬれてしまうので、あずま屋みたいな屋根があれば良いと思います。市政に関しては、ひと目でわかる文章が良いと思います。例えば、ご注意くださいと書くよりは、今年から植えることに決まったので実行して下さいとかだとすぐ理解できると思います。人々の集まる広場は、くつろぎやすい椅子とテーブル、屋根の工夫が必要だと思います。
- ・ 市民講座（大学教授や有識者による講座）の種類と頻度を増やして欲しい。

③ 芸術・文化について

- ・ ドンパル、市民会館などにもっと楽団、歌手を呼んでほしい。

④ スポーツ・レクリエーションについて

- ・ ドンパルのトレーニングルームを利用しています。器具が故障していますがずっと使用禁止のままです。予算の関係でしょうが、1年もあのままでは…。市民の健康管理のための施設がああではどんなものか、といつも思っています。
- ・ 日頃、県や市などの共催のスポーツ活動に参加している一人としてお礼申し上げます。その中で一つ気になることがございます。グランドゴルフ場使用料に関してです。使用料は、自己申告ということで1回50円、1年1,500円です。他の地域のように管理人をおいて、ゴルフ場もきれいに整備トイレもきれいな状態であれば、300円の使用料というのは理解できるのですが大曲の場合はいかがでしょうか？市税で管理していくのは大変でしょうが、50円という料金はどのように考えてのことでしょうか？「年寄りからじえんことらねたっていいべな」「散歩がてらにちょっと」「あの人いつつも来て払ってるベガ」など不満があるようです。一人でも多くの人足が運び、仲間と楽しく、そして健康増進、それが医療費削減につながっていくのではないのでしょうか。たかが50円されど50円でしょうか。これまでに検討に検討を重ねての決定事項ではあると思いますが。さらにご検討いただけたら幸いです。

- ・ スポーツ少年団指導中の禁煙徹底（学校側では言えないとのこと。携帯灰皿をご利用くださいと貼り紙していますが校地内禁煙では？校舎内（廊下）でも吸っています）。
- ・ スポーツイベントなどの活性化、サッカー、バスケットボール、プロチームだからこそそのイベントを花火以外でも強化すべき。
- ・ 小中学生のスポーツや部活動などのイベントを作る。
- ・ 町で行う運動会並びにスポーツについて参加人数が減少しているため、いろんな大会をかけもちしなければならないので、運動会は仕方ないにしても他のスポーツは野球、バレー位にしてほしいものです。
- ・ 自分はスポ少に携わっているのですが、しっかりとした設備の整った体育館が旧大曲市内に一つもないのが不満です！ 冷暖房の完備、四方を囲むギャラリー席、控え室などいろんな大会や行事を行える体育館が欲しいと思います。以前、ハピネッツ対韓国戦を行った大曲体育館はあまりにも選手に対して失礼で残念だと感じました。
- ・ 雪の多い地域なので、老人は冬の間散歩もできず体力がダウンしがちである。公の体育館や学校の体育館を老人に開放してウォーキングしてもらったらどうか。

【産業分野】

① 産業振興について

- ・ 自然環境の保全や上下水道の整備も必要だが、何よりも若者が定着し、安心して子育てが出来る地域を目指してほしい。そのためには企業の誘致、基幹産業である農業の充実などが必要と思う。高齢化社会に向けた支援の充実も必要。

② 産業創出・支援について

- ・ 大仙市地区において、いろいろな発達や工場が見受けられないのが残念に思

う日々である。

- ・ 企業誘致がうまくいかなければ雇用に結びつかないとみなさん言われますが、若い人たちをベンチャーに向かわせる方法もあるでしょう。その目を開かせ指導することも行政だけに頼らず官民でタッグを組んで進めていければと思います。

③ 観光振興について

- ・ 先日娘夫婦が私を男鹿半島に誘ってくれました。景色やナマハゲ館等良かったのですが、帰宅途中協和町の唐松神社の能楽館に寄って来ましたが、素晴らしいと言ってくれました。しかし案内してくれた人が「能楽をやる人が来てくれない」と言っていました。残念！
- ・ 市の玄関である駅舎に食事するところが無いというのは不便であると思う。
- ・ 前は道路から見る八乙女がきれいで車を止めて見たものです。今はどうでしょう。桜の木が少なくなり山に桜を見に行こうと思いません。八乙女の桜の木を道路から見えるところに植えたらどうでしょうか？ 観光客も少しは多く来るのではないのでしょうか。入札するのでなく建設業者が皆でやったらどうでしょうか？
- ・ 花火大会で、もっと収入を得て欲しい。赤字が大きすぎる。
- ・ 高齢者社会の中で駅前の開発は、お年寄りにやさしいですか？道路の整備不足で特に冬はキケン過ぎる！地下街とか駅ビル、ショッピングモールなどの施設で整えて、そして県外からのお客様が駅から降りて、とてもがっかりする様な現在の形では、花火だけ？なんだこりゃになっていると思う。山、川、温泉、雪、水、米等々いろんな名物があるはず。それと伝説の地巡りなど大仙ならではの宝物があるのではないか。宿泊施設の充実、横手のゆうゆうプラザ等、そして歴史巡りバスの整備、人材育成等、花火だけの感動を一年通して考えてはどうでしょう？
- ・ 大曲の花火をもう少し商業化？と言うのでしょうか。地元にお金が落ちるような方法がないかなあと思っております。

- ・ 秋田県人は自分の県のことを紹介するのが下手だと思う。角館の樺細工も色々なお土産屋に置くなどして、どんどん手にとってもらうことを増やした方が良い。現在、手ぬぐいブームなどもあり盛岡では鉄瓶の手ぬぐいやこけしの手ぬぐいなどかわいらしいものがあるが、以前秋田の手ぬぐいをみたが、かわいらしいもの等少ないように思った。もっと色々なアイディア（面白いもの）を出してほしい。
- ・ 花見といえば角館、角館には多くの観光客、角館の花見客をどうにか大仙市にも流れてくるような対策はないものか？また大曲の花火は大曲市街地のみお金がおりておもしろくありません。各地域の特設店テントを設けて地域らしいものをテントで売ってはとうでしょう。

④ 就業支援について

- ・ 若い人が安心して仕事ができる環境の確保。
- ・ 若者の働く場所を確保する（短期就労でなく正規社員として働く場を提供してもらいたい）。
- ・ 秋田県年々人が少なくなっており高齢化が進んでおります。大仙市も同じです。これは働く場所が無い事、仕事したくてもつとめ先が無い事です。大仙市の将来若者が働く場所の確保が必要です。まず工場の誘致がむずかしいと思いますが、大仙市の一番先に取り組む課題ではないでしょうか。まず先に工場誘致を積極的に進める事が市長始め職員の仕事ではないでしょうか。ぜひがんばって下さい。
- ・ 大曲には子供が大きくなったらなりたい仕事をしている場に出会い、気付かせるチャンスが少ないと思います。自分の子供にも希望を持たせられる地域の職場がはっきりとつかめていないです。きっと輝いて働いている大人の姿を私自身目にした事がないから…。職人の技術、工芸、文化、地域伝統に小さいうちからふれさせて、秋田県人としての大切な志はずっと伝えて、守って受け継いでいく努力が必要だと思います。
- ・ 若い女性の就業、子育て両立出来る政策が必要。
- ・ 若者が流出しないよう、雇用の充実に力を入れてほしい。企業誘致や地場産

業の活性化など目に見えるような施策を進めてほしい。

- ・ 働く所がもっとあってほしい。定職についていない方もたくさんいます。
- ・ 大仙市での雇用の場の増加や資格等の取得への協力（場所や指導）。
- ・ 仕事が無いので若い人は県外に行くので、仕事の間を作って欲しい。
- ・ とにかく若者の雇用の場の確保が大事だと思います。若者の流出を食い止めるなければ…。
- ・ 少子高齢化が進む中、息子達を家に呼びたいが、仕事が無くて呼べない。大胆な雇用の場を確保して欲しい。

【都市基盤整備】

① 交通インフラについて

- ・ 玉川の橋がやっと2車線になったが、それまでの朝、夕の渋滞が大変だった。去年の花火前に始めて冬の1車線はきつかったです。工事をするタイミングも考えてほしいです。玉川の橋を利用する人しかわからないつらさだと思いますが。
- ・ 山をこわしてまで道路を作る意味がわからない。家をよせてまで道路を作る意味がわからない。もっと別の方に困っていることがいっぱいあると思うが。
- ・ 市道について。商業エリアに後手に市道がくっつく状態が多々有り。認可の際は脈路の有る都市計画をしてほしい。交通量と、規模が不一致。横手市等の商業ゾーンの道路を参考にしてほしい。
- ・ 道路網の整備無くして、他県から人と仕事を呼び込む事は難しいと感じます。首都圏から一番遠い存在になっています。
- ・ 道路の舗装、雪消え時の痛みがひどく、間に合わせみたいに補修しているが、またすぐボコボコになり、自転車などは危険だと思う。

- ・ 大台スキー場の展望台に安全に行けるよう道路を改修してほしい。
- ・ 川口溪谷、市道バチ沢線の通行止めを解除してほしい。
- ・ 交通インフラで道路整備は、今後の財政状況から最低限の整備とするよう希望する。

② 公共交通について

- ・ バスをコンパクトにして本数を多くしたらどうか。先日組合病院に来た人が診療をしないで帰った。昼のバスを逃すと夜のママの支度が出来ないので…。
- ・ 太田地域は交通の便が悪いうえ、宅配など商店のサービスも受けにくい地域である。そのため、高齢になって車が運転できなくなったときのことを考えると不安である。高齢者が安心して生活できる町づくりを進めてほしい。
- ・ 高齢運転者の事故が多発しているようです。私のまわりでは高齢のため自らの運転に不安を感じていながらも、運転をやめたくてもやめられないという方々が大勢います。「病院や日用品の買い物にタクシーで行ったら年金なんてすぐ底をつくから。」「足が悪いからバスは使えない。自家用車がないとダメだ。」みんな危険を感じていながらどうしようもなく運転を続けているようです。以上の事から設問4の7「生活に即した…」の確立を強く希望します。
- ・ シルバー（シャトルバス？）バスが定期巡回していますが、ほとんど人が乗っていないのもったいないと思います。実際祖父母が利用しようとしても家からバス停まで遠く、足腰の弱い祖父母はそこまでたどりつけず、一度も利用できませんでした。バスよりも乗り合いタクシーみたいな小型車（1台だと不足だから軽自動車数台？）を使った方が良いかと思います。電話1本で自宅まで来てもらうなら高齢者は利用しやすいと思います。太田地域内なら一律同額…というのはどうでしょうか。
- ・ 高齢者の人たちが交通の便が良くなればお店の売り上げもあがるのではないかと思います。年金が少ないと言っている方もいらっしゃるのに対して沢山の財産もある方もいると思うので、景気回復に何か良い考えがあればと思います。

- ・ 乗り合いタクシーの回数と時間指定をなくした方がいいと思います（時間通りにはいきません）。
- ・ 高齢化社会になっていきます。今は車がないと生活が不便ですが、車を運転できない人または高齢者はどうするのでしょうか。それを解決していくことで新たな雇用もうまれるのではないのでしょうか。
- ・ 高齢者にとって交通の便が悪い。

③ 市街地形成について

- ・ 駅前開発に予算を当てすぎではないか？
- ・ 民間の協力を得て花火通り沿いに複合商業施設を建設し、沿道の各商店などをテナント沿いの電線、電話線の地中化を図り電柱を撤去する。このことによって、道路拡張と景観の向上に寄与し駅周辺の活性化につながるのではないか。地域の活性化は、公共交通機関（電車・バス）の発着場である駅周辺に賑わいが戻ることが絶対条件であると考えている。
- ・ 組合病院の移転に伴い駐車場を広くしてほしい。ジョイフルシティに変わる商業施設を作してほしい。
- ・ 仙北組合病院は利便性を考えると駅前ではなく、福田や安本、石田地域に作った方が良かったと思う。特に福田町であれば駅や 13 号線に近く、駐車場や道路を広く整備できたと思う。駅前の整備としては広い公園やイベントホール等を作り、市民の憩いの場としたり、イベントホールを安く貸す事で利用しやすく、イベントの誘致をしていく。大曲の花火は有名だがそれ以外はあまり知られていないと思う。イベントホールや広い公園を利用したコンサートや屋外ライブ（ロックフェスなど）を毎年開催したり、若手や無名のバンドやオヤジバンド等の人達にも参加できる取り組みをしてもらいたい。病院とは本来、患者さんの利便性を考えて作るべきところを駅前の活性化といった一部の限られた人達のために今回は行われてしまったように感じる。病院を本来の役割に戻し、病院に頼らなくても集客できる駅前の町づくりをするべきだと思う。最後になってしまったが、仕方ないとはいえ、大曲地域を中心として整備されていると思う。私の住む仙北地域は大仙市になってから

体育館以外は変わっていない様に思えます。

- ・ 仕事の関係で国内いろいろと行きましたが、中心商店街がシャッター街となっているところが多々ありました。大曲はまだ大丈夫な方と思いました。現在大曲駅前で行われている再開発ですが、仙北組合総合病院を中心に据えたのは正解と思います。収容力はあると思いますので、これをどう生かしていくのか試されるものと思い、作りっぱなしにならないようにお願いします。これはむしろ JR 側に伝えることかもしれませんが、大曲の花火のときの混雑も考えると、改札口を1階に設けるべきではなかったかと思います。また新幹線ホームへの行き方が、秋田駅のようにホームの真ん中あたりに階段（エスカレーター）を設置した方が利便性は高かったと思います。改善の余地はあるのでしょうか。

④ 上・下水道について

- ・ 上水道料金は高すぎる。
- ・ 中心部（大曲地域）との格差を生活面で感じます。不便な生活をしている割に、公共料金（水道料金）は、いっしょというのは不満です。安くなるのが中心部で、何倍も高くなるのが中心部から遠い地域…というのはおかしいのでは…？
- ・ 大仙市内での上下水道料金に差がありすぎる。一部ではほとんどかからない地区もあるとか…。平均的に負担する様に出来ないでしょうか？

【環境・安全分野】

① 自然保護について

- ・ 大仙市はとても素晴らしい自然を有し、世界に打って出ていける花火他様々な文化がたくさんあります。なのに出ていけません。外に向かってどんどん自信を持って出すべき。
- ・ 大台スキー場の周辺は県立自然公園です。除草剤を使うのはいかなものか。
- ・ 自然とふれ合う公園とか行楽地を整備してほしい。

② 住環境について

- ・ サイクリングコースなど、休日でも市内で過ごせる、遊べる（大人でも）施設がほしいです。
- ・ もともと市内の住環境についてはほぼ満足した生活をしています。これからできるだけ行政にはお世話にならない生活を心がけていきたいと思っています。
- ・ 既存の公園の整備を進めてほしい
〈例〉 大佐沢公園の遊具（ジャンボすべり台など）が使用不能になって放置されたまま。
ささくら公園も使用不能の遊具があり。
遊歩道やサイクリングロードなどできるとうれしいです。
- ・ 市民の憩いの公園みたいなものがなく淋しい限りだ。
- ・ 市営住宅。収入の低い人が入れないのはおかしい。
- ・ 区画化団地等が増え、既存の住宅は敷地の管理が大変です。家屋敷の葉、枝、木等、軽めの物は焼却出来ましたが（現在は不可能）ゴミ袋何百枚も年間使いますし、自然に戻してあげられる措置をお願いします。
- ・ 河川敷や公園などの環境整備にも力を入れてほしい。子供も行きたい気持ちになるように環境整備をしてほしい。
- ・ 桂公園など近くの公園に行こうと思っても車を止める場所がなくで行けずにいます（止めるところあるのかな？）。行きやすいように駐車場とかあるといいですね。
- ・ 私の町には大佐沢公園という自慢な公園があります。ある時、障がい者の孫をつれて「山びこローラ」に乗せてやろうと思い、連れて行ったところ、乗せてやる事ができませんでした。そばにいた管理人さんが数年も前から「山びこローラ」も「遊具」もこわれたままだと教えてくれました。人なみに遊ぶ事のできない障がい者を「山びこローラ」なら支えて遊ぶことができ

と思ったからです。市で予算がないからそのままだろうともいう管理人さん、私のほかにも同じような思いをしている方達がいるかと思います。障がい者でも自然とふれる場として公園の整備を願いたく、また前のように他町からバス遠足で遊びに来れるような子供達のにぎやかな笑い声、叫び声が大佐沢公園に山びこのようにひびき、聞こえる日が早く来るように、孫と一緒に期待しています。

- ・ 空き家が多いのでそれを整備して、自分で家を買えない人や定年で田舎暮らしをしたい人に貸す等してみてもどうか。
- ・ 公園をもっと増やしてほしい。
- ・ 地区内公園の維持管理について大仙市から委託され自治会が管理をしておりますが、草刈り等の作業が予算不足のため十分な出役が出来なく、遊具も設置されており、子供の怪我も危惧される現状にあります。毎年度の大仙市からの助成金に含まれていると思われませんが、別途に予算化の検討をお願いします。

③ 衛生環境について

- ・ ゴミの無料化。
- ・ フリーマーケットなどが出来る所などあれば？ 家電リサイクル（小型）など集めるなど。

④ 安全・安心体制について

- ・ 冬期の除雪は費用もかかってしまうし大変だと思いますが、もう少し改善できないでしょうか。雪が多かったこともあってか、今年の1～3月の間、「朝の除雪が遅い」などの声が多く聞かれました。除雪の時間帯を再度ご検討お願いします。そして、高齢者のための除雪の手伝いをするようなものを今以上にもっと大きな規模で実施してほしいです。
- ・ 気になるのは災害時の対応ですが、各地域ごとに想定される災害状況を町内会にお示しいただければ幸いです。私個人としては、地震単独ではなく、増水または積雪時における地震(堤防の決壊など)を想定しています。

- ・ 街灯、標識にサビが見られる。塗装すべきではないか。
- ・ 冬期の除雪路線で通行が少ない路線は見直すべきではないか。
- ・ 先の水害では、開発整備市街地と福見町の被害が大きかったと聞いている。そこで、国土交通省・県との連携を図り、河川整備(特に川底)と合わせ休耕田などを利用した貯水池(遊水地)の増設を推進してはどうか。
- ・ 生活道路に対して計画的な消雪設備の施設若しくは施設支援を推進していくことが望まれる。今後の高齢者世帯の増加を踏まえ、高齢者の除雪作業軽減に繋がるとともに除雪経費の削減に貢献すると考える。
- ・ 毎年、雪下ろしによる死亡・けが人が発生していることを踏まえ、住宅建設業者に対して、新築住宅などには必ず身体確保を図るためのロープ展張用設備を設けるよう要望する。いくらロープで身体確保をするよう指導されても、ロープを結着する工作物などがないと身体確保は不可能である。
- ・ 流雪、消雪、融雪施設の拡大(冬期間の雪対策を！)。
- ・ とにかく冬のきびしさに若い人達がUターンしたくないとくどかれる。できる限り自己責任であるが、がんばりたいが行政も補助とか考えてくれないだろうか(雪下ろし等)。
- ・ 冬の除排雪については車道道路だけでなく、子供たちが通る歩道についても、登校前に完了できるようにしてほしい。歩道と車道の間の雪壁も子供達にとっては危険なので早めの対策をお願いします。
- ・ HP やメールを使つての防災への取り組み。
- ・ 通学路なのに街路灯が少ない。防犯上もう少し多く設置してほしい。
- ・ 私の両親が二人で暮らしている実家は、通学路からほんの少し離れた所にあります。毎年「除雪対策」で悩んでいます。流雪溝、消雪パイプ、水路から離れており、毎朝、除雪車に寄せられた雪を 30m ほど離れた水路まで、何十回もスノーダンプで運んでぐったりする日が続きます。屋根には 1 ～ 2 m

の積雪があるし、体も思うように動かなくなり全て他人頼みとなり、深刻な様子です。一番の悩みは除雪車が置いていく、固くて重い雪山の処理です。オペレータや市に泣きついて「適切な処理」をしていると取り扱ってくれません。近い将来の選択として住み慣れた大曲を捨てて、雪の無いところに「終の住み家」を見つけるしかないと言っています。この両親の悩み(願い)を「行政の力」で解決してくださるようお願いします。じじ、ばばが遠くなると子供達も悲しむと思います。

- ・ 全国的にですが昼間点灯の街灯が見られる。設置者、電気料に関わらずいかなものか。
- ・ 車の音で防災無線の放送が聞こえないので家内に何か付けるかして、聞こえる様にしてもらいたいと思います。

【地域情報・交流・行政運営分野】

① 参画・交流について

- ・ 子供支援も大切ですが、結婚してない方がとても多いので、もっと出会いができる、きっかけ、チャンスを作ってあげてほしい事(何かお手伝いできればと考えております)。
- ・ 大仙市では男女共同参画、国際交流促進などに力を入れているようですが、その前に大仙市内の地域活動交流の方が大切だと思います。大仙市内の各地域の情報や活動内容をもっともっと多く知ることにより、活性化されると思います。広い大仙市です。自分が住んでいる地域以外の良いところ、素敵な場所などなど…知りたい住民たくさんいると思います。
- ・ 大曲地域の場合、地域交流、学習等、受けられる人が片寄る企画が多く感ずる。できるだけ多くの人に行届く事業にしてほしい。ブロック分けも必要でないか。
- ・ 仕事で市内全域を車で入りますが、地域によってはいまだに携帯電話の通じない場所もかなりの地域で多く感じます。市行政としても取り組みが可能であれば、利便性や今後の住民の安心な通信手段として考えれば整備が必要なのかと思います。

- ・ 男女の出会いが少ないと思います。
- ・ リアルタイムの市からの情報発信。
- ・ 私たちの住む大仙市、今後ますます安全、安心で魅力的な街へとなくなっていくことを願っています。そのためには行政のみに頼るだけではなく、市民一人ひとりが参画していくような街づくりが必要になってくると思います。
- ・ 学校、医療、社会福祉、就業、農業、道路どれをとっても環境に関して大仙市は優れていると感じておりますが、すべて人間が動いている事で行政に関しても市長さん、先に立って動いている方々でも必死でおられるのも、この年になって痛みいります。動いてくださっている方には失礼ですが、働きたくとも働けない、話したくても話せない、コミュニケーションの仕方が分からず立ち止まっている若者が増えていると思うので、若者を市政に関わらせたらと提案します。
- ・ 大仙市は県内の他市に比べ、特色があまりないと感じます。情報を発信してはいただいていると思いますが、受け取り手に届いていなければ若年層の活発なネットワークにも結びつきません。官民・老若・男女・地区の違いも超えて何か一つになれるような方向性がみつかればよいと思います。

② 協働について

- ・ 私自身は市が主導する行政ではなく、市民活動する人々をサポートする行政であるべきだと思っているので、高齢社会をこれから人口が減少する中、どう人々が生き抜いていくべきか、市民が主役のまちづくりがどうなってゆくのか、たいへん気になります。市が何でも提供するの時代遅れです。市民一人一人が自覚を持って、どうすべきかを考えていかなければ、これから生き抜くのは難しいと思います。
- ・ 財政上の問題とすぐ職員減、あるいは給与減に走りがちの感じがします。「事務組織」の見直し等の設問がありますが、何をどのように見直し、結果どのような組織を「良」とするのかわかりません。職員、市民それぞれの立場で士気を高め、「大仙市民憲章」が具現化するよう望みます。それは市民側が行政に頼りすぎず、自分達で出来る事を真剣に実行する必要があります。

③ 地域活性化について

- ・ 他の地区、市の良い面、又、この地区に必要な面など考えて欲しい。寂れている市の状況(花火だけではないはず)、商店、駅前周辺ももっと明るい感じにして欲しい。
- ・ 駅周辺の整備ばかりで大仙市のはずれを生活しやすいように、いろんな面で整備してほしい
- ・ 大曲駅前の商店街など、あまりにも閑散としすぎている。他県から人を集めるのは花火しかなく、他県の人が遊びに来て連れていくところがない。パチンコ屋などばかりが増え、魅力的な施設、イベント等が何もない。もっと有効的に金銭の使い方を考えていただきたいです。若い人が、ここに残りたいという魅力がない限り、どんどん人口は減っていく。
- ・ 以前神岡町でやっていた、全町ぐるみの「花いっぱい運動」「ベコニアのコンテスト」を地域限定でも良いので復活してほしいです。最近街なかさびしい感じなので、ベコニアの花で昔みたいに街に活気が戻るのを期待しています。
- ・ 何か魅力的なものを見つけて注目を集めないと尻すぼみの未来が待っているのではないのでしょうか？民間では使える金に限度があるので、子供の才能を見つけ出し、押し出し、大曲では夢を叶えられると思わせられるような町にしたら活性化するんじゃないのでしょうか？若人は外に出てしまっただけで戻ってくる魅力がなければ戻ってきません。
- ・ 合併以来、大曲中心に開発され、大曲のための合併だったのか？と残念な気持ちでいっぱいです。もう少し中仙地域にも目をむけてほしいと思います。
- ・ 大曲地域だけが振興し、他の地域はどうか？
- ・ 高齢化が進む中、市職員は自治会の運営及び行事等に積極的に参加していただき、地域活性化に尽力いただきたい。
- ・ 旧大曲だけが良くなっている感がある。地方地域はおざなりだ。すぐに金が

無いと言う！！若い世代に仕事と金がなければ人口は増えない。自然界を見てみなさい。エサが豊富なら子が増える。それと同じだよ！！

- ・ 大仙地域全体を活性化させる市政に期待します。
- ・ 大曲の町もさびしい町になりました。
- ・ 太田地域、取り残されそうに感じているのは私だけでしょうか。
- ・ もっと地域を活性化させるようなイベントを企画して欲しいと思います。他市町村と比べて少ないし、面白味に欠ける。認知度が低い。

④ 行財政運営について

- ・ 市役所の窓口に行ってもだれも見向きもしないことがあり、不快に感じる。せめて「どのようなご用件でしょうか？」等の会話があってもいいと思う。
- ・ 冬季間、除雪した雪のせいで駐車場が狭くなっている。排雪で対応してほしいと思う。
- ・ 市政運営については、いろいろと御努力をされており色々な会議などの中で感じ取っております。
- ・ 回覧板が多すぎる事。確かにそれぞれ用途によって内容がちがいますが簡素化してほしい（すてるのも多いので）。
- ・ 各種手続きなどで支所の窓口を訪れた際、職員の雰囲気は少々気にかかる。和んだ雰囲気は良いが、私語や間食等来客があるにも関わらず、周囲の職員が気にせず続け、それを誰も注意しない（できない）職場環境は、役所としていかななものか。少々信頼性に欠ける部分がある（窓口対応面において）。
- ・ 時々窓口を利用しています。以前に比べ親切に対応していただき、待っている時間も短くなったような気がしました。担当者がいない時も、他の方が窓口にかけてくれました。忙しい合間をぬっての訪問だったので、大変助かりました。これからもよろしくお願いします。

- ・ 中仙の道の駅（こめこめプラザ）をよく利用するのですが、事務所に用事があり、呼びかけても誰もいないことが多々あります。呼び鈴を設置してほしいと道の駅アンケート用紙へ記入したこともありますが、改善されません。今後も対応していただけない場合、中仙支所の方へお話ししようと考えています。
- ・ アンケートの設問をもっとわかりやすい形式にしたらいかがでしょう。非常に答えにくい設問になっています。市政についてはほとんど現状を把握していないのが実情です。
- ・ 市営住宅入居の者です。何度もお願いしている事がありますが、なかなか動いてくださらず、大変困惑してます…。住民のことでも問題があつたりして、お願いを受け入れてもらいたい時がよくあります。
- ・ 市街地と農村部では一律の行政に無理があるのでないか。例えば、市街地の間口除雪が農村部では必ずしも有効でないと思う。
- ・ 住民基本台帳カードを作ろうと思った時に、（即日交付の場合）最後には、大曲まで行かないと作れないと聞いたのももう少し行政で何とかしてほしいと思った。
- ・ 市職員（男性）の育児休業取得推進。
- ・ 合併に伴い、公共施設の予算がだいぶ減少したらしく、大幅な冷暖房節約や清掃用具、衛生用具の減少で、備品がなく大変に困ってました。（職員の方に話して、どうなるかわかりませんが）使用する人が自費で準備した時もありました。あと、公共施設で人通りが少ない神岡の場合、土足になっておりますがスリッパに履きかえた方が良いのでは？泥靴の足跡が取れない。開放的なので、もっと考えた方が良いと思います。
- ・ 同じ大仙市内でも地域により対応が遅い。もっと市内全体の見直しが必要。
- ・ 一般の職員ですが。平日は有給・休日は出勤。子供の活動で有給。ゲームソフトの購入のために有給…。市職員の待遇は、詳しい事は分かりませんが、市民感覚からすると、相当ズレていると思います。リフレッシュも必要でしょうが、時給で働き、納税しているものからすれば、くだらない理由でしか

ありません。いっその事、仕事の効率、処理能力で評価をしてもらいたい職員がいるのも事実です。このまま、民間の先に行く形で、定年延長などを喜んで話をしていましたが、若い人をどんどん採用して育ててもらいたいと思います。あとは 50 代の職員 1 人の年間分で、2 人は働く場が与えられるはずです。

- ・ 市役所職員の対応が悪い（中仙支所）。窓口に行っても説明できる職員がないため、時間がかかる。また、こっちが「すみません」と言わないと職員が来ない。
- ・ 市長の市政に対する考え、行動、実践は評価出来る。ただし、市民の声（要望、意見）を自由に市政に届く方策を構築してほしい（各部所長の考えで）。
- ・ 少子化対策の一環として、給与体系を見直すことも必要であるとする。20 歳代若者の給与が少なく、とても結婚・出産・育児を安心してできる環境でないのが実情である。給与は 50 歳代前半で頭打ちとし、その分 20 歳代を手厚くするなどの対策も必要なのではないか。
- ・ 私個人の考えでは市役所の窓口業務は一つのサービス業と思います。窓口業務の時間を早朝（例えば AM7：00～PM7：00）とかもしくは土曜、日曜の午前中あるいは AM8：30～PM5：30 などの他との差別化を推進してほしいです。基本一般の会社は AM8：30～PM5：30 なので窓口に行ける時間が限られています。窓口業務の交代勤務を検討してもらえないでしょうか。それにより市役所内の空きスペースが出ると思います。その部分を民間に貸出しするなどの知恵を出してほしいです。
- ・ 市役所職員はもっと市民に対して笑顔で接してほしい。市役所に行っても支所に行っても、あいさつのひとつもなくシーンとしている。地域の税金で働いていることの認識が薄すぎます。子供達にはあいさつ運動などと呼びかけていながら、職員はあいさつひとつできていない。地域の役所であることを自覚してほしい。
- ・ 支所により庁内の空気が違って感じられます。書類一つにしても毎日見ていらっしゃる職員と違い一般市民はわからない事ばかりです。よろしく願い致します。例えば提出した書類により、結果、今後の動きはどこまで必要か否か等、簡潔に指示を書いた用紙等いただけたら幸いです。80 代の父母は

何をしに役所へ行ったか忘れてしまうそうです。

- ・ 公的な施設を利用したいと考えています。なかなか場所の確保が困難です。何かのイベントが入るとその他の施設もいっぱいになる様です。料金はかかっても借りられる施設を分かりやすい所に集約してもらいたい。
- ・ 市職員の（部課長クラス）の天下り解消（特に目立つ）。もっと若い人の雇用ができるはず。
- ・ 市職員特に部長クラスの能力活用がみられない（費用対効果なし）。
- ・ 各地域に行政連絡員がいて広報等の配布等行っているが集落や町内会に属していても関係性の薄い（新規に大仙市に居住する者）人間にとっては非常になじみにくい仕組みと考える。ゴミ集積所が最たる例だ。集落、町内会で設置している物は利用しにくい。ゴミの収集は行政サービスのはずだが新参者は利用しにくい。うしろ指指されながらゴミ捨てなければならない住民がいる事を理解してほしい。行政でやらなければならない事で集落や町内会に投げてしまうことは効率化とはいえない。しっかりしろ！！
- ・ 毎日でなくて良いので市役所等の時間延長。
- ・ 行政職員の不祥事で、その課の部下？にあたる人が「うちの上司がすみません」というような軽い謝罪で大丈夫か！？と思った。
- ・ 質問が漠然としていて答えづらかったです。
- ・ 5月22日、6時過ぎ水道水が濁って市の代表電話に問い合わせたら、あまりにも感じが悪かった。それに比べて水道局の人はとても親切だった。代表の電話に出る人があれでは情けないです。善処願います。
- ・ アンケート項目が具体的な内容でないため、思っていることが表現しづらい。27年まで同内容のアンケートをすると思いますが、施策の参考になるとは思えない。
- ・ 市民の声を行政に反映させるため、市では各種の委員会等で有識者会議を開催していると思われるが、その委員のメンバーについて。メンバーは市で選

んでいるだろうが、比較的安易に選んでいる。市側の意見に近い人など、成果をまとめやすい、いわば市側のアリバイづくり的な様相です。広く広報し公募により委員等の選任をするべきものと考えます。また各種委員会について情報を市民に公表すべきです（例えば国保協議会など、他にもたくさんあるでしょう）。

- ・ 意見を書いてもムダかもしれませんが…。各支所に電話で相談しようとしてもすぐ対応してくれない。住宅の排水の事について支所に相談したが「いつ何時頃に」がない。すぐ実行してくれない。仙北支所の職員が「あいさつ」しない。業務担当なのに電話で相談しても「わかりません」と言うし、担当だったらもっと言うことに責任を持ってほしい。「一般市民に何で言われなきゃいけない」などと言われた。「市長に直接話したい」と言うと「市長は関係ない」と言われた。あんまりではないですか？市民をバカにしている。
- ・ 窓口対応が悪い。デパートなどのサービス業で職場研修を実施したらよいと思う。庁舎全体の雰囲気が暗い。対応などの時、もう少し笑顔があったらよいと思う。私語は控えるべきである。オープンスペースなので丸見えである。
- ・ 土日も転入届や転出届けの窓口業務をして欲しい。
- ・ 皆様、日々御苦勞様です。日頃感じる事ですが、支所に行っても接し方が暗いですね。
- ・ マニフェスト（市長公約）の検証結果を数字でわかりやすく市民に報告すべきだ。そのためにマニフェストは抽象的でなく出来るだけ数字でわかりやすいものにすべきです。PLAN（計画）→DO（実施）→CHECK（チェック）→ACT（改善）、現在の企業のほとんどはこのPDCAを現して企業の継続的改善を図り発展をめざしています。是非、当大仙市でもこの方法を活用することを念じています。
- ・ 市役所を利用する時、車が止められない。職員が止めている様ですが、役所関係で職員が止めて利用者が止められないのはおかしいのではないのでしょうか。
- ・ 先日、水道の水が濁るということがありました。工事現場で何かあって…と電話で聞きました。周辺住民や施設に電話や車の広報などで知らせるべきと

思います。市民の立場になって、後手ではなく先手での対応をお願いしたいです。市役所→水道局へ取り次ぐ職員の電話対応も常識的にお願いします。どっかのおじさんみたいな口調でした。

- ・ 支所の職員数に応じ、間仕切りが必要ではないか。省エネのために。
- ・ 市の広報は賞をいただくほど立派でなくてもよい。写真（特に花火）等のために税金を使われていると思うと腹立たしい。もう少し質素にして、税金は少しでも辛抱して欲しい。要は連絡事項がわかればそれで結構。
- ・ 職員の採用について明確にして欲しい。偉い人の子息やお金持ちでなければ駄目だなんて考えたくないが、実際そんなことを言っている職員もいるのはどうか。とにかく仕事の出来る人を採用してほしい。
- ・ 各支所の窓口の対応が悪い。窓口が混んでいる時に、手の空いている職員が知らないふりをしている。
- ・ 設問の社会福祉は母子父子、障害者、高齢者を分けた方がよい。それぞれ満足度、重要度は違うと思う。評価する年齢によっては満足を実感できない設問もあり、素直に「分からない」の欄があってもよい。「3 どちらとも言えない」は削除を検討。アンケートといっしょに大仙市が実施している政策が一目で分かる資料の添付があれば、満足度や重要度の参考となると思う。

【その他】

- ・ 大仙市（主に大曲地域ですが）は大きさ的にも大変生活しやすいと感じます。県外出身者の妻も言っていました。ただ、市政に関してはもっと特色を出しても良いと思います。特に少子・高齢化の対応は、選択の施策とするとか。秋田や日本のモデルになるレベルを目指しても良いかもしれませんね。
- ・ みんなが利用するものに予算を振り分けるべきだ。
- ・ 概ねよくやっているとありますが、強いて言えば、産業政策が他と変わらないことと、新人音楽祭をもっと生かすべきではないかと思います。前者については、所謂ベンリモノを次々繰り出せる企業（のネットワーク）があれば特徴的ですし、後者については練習の場としても定着できればいい

な、と思います。パークリーやESPを誘致しろという訳ではありませんが…。

- ・ 今年2月頃、役場の制服を着たと思われる女性に車から火のついたタバコの吸い殻と、タバコのなくなったハコをポイすてされたと、身内が言ってました。場所は、協和の稲沢～協和境までの道の、運転中のことだそうです。すてた車は前を走っており、自分の車で火花がちったみたいですよ。公務員がどうゆうことですか！税金払ってるんだぞ。
- ・ たまには市長がテレビに出るようにしたらいいと思います。何をしてるかも分からないし、子供たちは、大仙市長の顔すら知らない気がします。今の若い人が未来の大仙市を担うのは明らかですし、市長が何をしてるかも分からない状況はおかしいと思っています。
- ・ 安心して暮らせる良い大仙市であり、老後も暮らせやすく。おねがい。
- ・ よりよい街づくり、よろしくお願いします。
- ・ 何年も変動できない？しない？市職員の現在の勤務体制が残念に思います。
- ・ これまでの温かい行政運営を継続して下さいお願いします。
- ・ 不満もありますが夢のあるまち作りをお願いします。
- ・ 「お年寄りに手厚く」は、ありがたくまた必要なことだと思いますが、それよりももっと重きを置きたいのは若者が生き生き仕事し、余暇を楽しめることがもっと大事なことです。ここで生活していくためにあらゆる手だてが欲しいものです。
- ・ 「大仙市」は今も県外の方々からなじまない意見多い(私は県外出張が多い)ので、「大曲市」は「花火のまち」として全国的に認知されており再構築(再考)できないか(出来たら「大曲市」をお願い)。
- ・ 東日本大震災被災地のがれき受け入れにいち早く手を挙げられたことは称賛に値する。また、当市は出産、子育て支援が手厚いと聞いている。喜ばしいことであり今後も継続していただきたい。

- ・ 市議会議員の報酬は市民の所得と比較して相当高いと思う。毎年、新聞投稿で議員報酬が高いと指摘されているが、県・市町村議員が何ら反応を示さないのは誠に遺憾である。自腹を切る気概・気骨なくして市民を幸せにはできないと考える。
- ・ 頑張ってください。
- ・ 現状に満足しております。市長はじめ良く頑張っていたいただいていると思っております。
- ・ 市議の方々は選挙の時だけで、その地域に来ない。あのバイタリティーで大仙市の市民の方々1軒1軒の家で意見等聞きまわってもよろしいのでは！
- ・ 大仙市役所の職員の方々は毎日遅くまで一生懸命がんばっていらっしゃるのには良く存じております。ありがとうございます。
- ・ すべての人が満足できることはないと思うので、ある程度まとをしぼって「まちづくり」をしてもらいたい。
- ・ TVのチャンネルを増やして欲しい。
- ・ 人口の減少について。子供達が進学するにあたり自宅から通える大学、あるいは専門学校等がない、また就職先がなく、地元にとどまるも最低賃金ゆえに他県への流出が多くなると思う。地元企業も賃金の引き上げを考えるべきと思うが。企業誘致も選んすべきと思う。また生活については雪対策を考えるべき。地熱を利用したロードヒーティング等海外では電気代も無料という国もある。秋田は最低賃金の上、物価は全国と同じ。とても生活したい場所ではない。人口を減らさないためにも、もっと根本的な事を考えてもらいたい。何事も中途半端な事ばかりで将来を見据えた取組みがされていないと思う。
- ・ 長女は関東の大学に進み、卒業後県内か、東北内での就職を希望していました。15年ほど前のことです。就職難は今も変わりませんが、その時期、超氷河期と言われました。我が家は80代と60代、若い時は県政、市政、あまり関心がありませんでしたが、今すべてにおいて深く考えさせられます。若い方々の幸福を願います。

- ・ 何事においても市の末端の整備が遅れています。今一度合併の原点にかえって行政の在り方を考えてみてください。
- ・ 市役所や支所に行った時に、申請等の説明でわからない事があるので、忙しいでしょうが宜しくお願いします。

資 料 編

平成 25 年度
市民による市政評価 調査票

大仙市の将来のために
平成25年度市民による市政評価
ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
大仙市では、『人が活き人が集う夢のある田園交流都市』を将来都市像とし、平成18年度から27年度までの10年間のまちづくりの基本的指針を示した「大仙市総合計画」を策定し、推進しています。

この「市民による市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていらっしゃることや、まちづくりに対する要望をお聞きするものです。

皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、「市民による市政評価」の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

平成25年5月
大仙市長 栗 林 次 美

《ご回答記入の締切》

お答えはこの調査票に直接ご記入いただき、**6月7日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

《ご記入上の注意》

※ このアンケートは、市内にお住まいになっている、18歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。

※ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。ご本人にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直にご回答ください。

《ご記入の方法》

- 1 このアンケートは原則として封筒の宛名ご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。
- 2 質問のあとに「(○はそれぞれ1つ)」とあるときには、あてはまる回答項目を1つ選び、番号を○で囲んでください。
(例) 5 **4** 3 2 1
- 3 質問のあとに「(○はいくつでも)」とあるときには、いくつ選んでも構いません。あてはまる回答項目の番号を○で囲んでください。
(例) **5** 4 **3** **2** 1
- 4 あてはまる項目がないときは、「その他()」に具体的にご記入ください。

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線228) FAX:0187-63-1119
Eメール:sougou@city.daisen.akita.jp

問1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の現状にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」についてあなたのお考えに一番近い番号をそれぞれ1つつ選んで、○印をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅰ 健康・医療 安心して暮らせるまちづくり	① (保健・医療) 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅱ 心豊かな人を育むまちづくり	① (学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (芸術・文化) 芸術、文化活動、文化財に触れる機会について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(つづき)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅲ 活躍できると希望を持ち 活躍できるまちづくり	①	(産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について					5	4	3	2	1
	②	(産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について					5	4	3	2	1
	③	(観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について					5	4	3	2	1
	④	(就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について					5	4	3	2	1
Ⅳ 生活の基盤が 整ったまちづくり	①	(交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について					5	4	3	2	1
	②	(公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について					5	4	3	2	1
	③	(市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について					5	4	3	2	1
	④	(上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について					5	4	3	2	1

(つづき)

満足度と重要度 設問項目			満足度					重要度				
			5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅴ 環境と調和し 快適で安全に暮らせるまちづくり	①	(自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	(住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	(衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅵ 仲間とふれあい ともに活躍できるまちづくり	①	(参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	(協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	(地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	(行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

設問1 あなたが**健康福祉分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべて**に○印をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 地域医療体制の整備 | 2 健康づくりの推進 |
| 3 病気予防体制の充実 | 4 母子保健の充実 |
| 5 育児支援の充実 | 6 保育体制の充実 |
| 7 児童館、児童クラブなどの充実 | 8 福祉活動のネットワーク化、ボランティア化 |
| 9 母子、父子福祉の充実 | 10 障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉 |
| 11 高齢者福祉の充実 | 12 介護予防事業の充実 |
| 13 国民健康保険などの社会保障の促進 | 14 福祉施設、福祉住宅等の整備 |
| 15 その他() | |

設問2 あなたが**教育分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 学校教育の充実 | 2 幼児教育の充実 |
| 3 家庭教育、地域教育の推進 | 4 学校施設の整備 |
| 5 児童生徒の課外活動、校外活動の充実 | 6 生涯学習推進体制とネットワーク化 |
| 7 学習成果の活用と社会参加活動への支援 | 8 学習情報の提供 |
| 9 生涯学習機会の増加 | 10 芸術、文化活動の振興 |
| 11 文化財の保護保全・整備と活用 | 12 スポーツ、レクリエーション活動の充実 |
| 13 スポーツ、レクリエーション施設の整備 | 14 非核平和の啓発 |
| 15 その他() | |

設問3 あなたが**産業分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

1 農業の担い手確保、育成	2 農業生産基盤の整備
3 農産品の振興	4 農村生活・就業環境の整備
5 畜産業、林業、水産業の振興	6 中小企業、経営者の支援
7 商業環境の整備	8 企業誘致の強化
9 既存企業の振興	10 イベント、民俗行事への支援
11 観光誘客の推進	12 特産品の振興
13 雇用への支援	14 雇用環境の整備
15 その他()	

設問4 あなたが**都市基盤分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

1 主要道路網の整備促進	2 生活道路の整備
3 幹線道路の整備促進	4 駅舎、駐車場の整備・維持管理
5 生活路線バス運行の維持のための支援	6 市内循環バス等の運行
7 生活に即した地域内交通システムの確立	8 計画的な市街地整備
9 駅周辺地区の整備促進	10 各地域の特徴を活かしたまちづくり
11 安全で安定した水道水の供給	12 水道未普及地区の解消
13 下水道施設の整備	14 下水未処理地区の解消
15 その他()	

設問5 あなたが**環境・安全分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 自然環境の保全	2 自然とふれる場の創出
3 森林の維持と保全	4 河川とその周辺環境の保全・整備
5 市営住宅の整備・管理	6 住宅地の整備、供給
7 公園・緑地の整備、緑化の推進	8 廃棄物の排出抑制
9 廃棄物の適正処理	10 リサイクル可能な資源の利用促進
11 交通安全、防犯体制の強化	12 消防、防災体制の充実
13 除排雪体制の充実、整備	14 消融雪施設の整備促進
15 その他()	

設問6 あなたが**地域情報・交流・行政運営分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 男女共同参画社会の形成	2 市内地域間交流の促進
3 他市町村との連携、交流	4 国際交流の促進
5 自治組織づくり、自治会活動への支援	6 行政への市民参加の機会拡大
7 市内の情報網、通信網の整備	8 地域活動の情報提供
9 小規模集落、高齢化集落の維持	10 地域独自の活性化への支援
11 行政情報の提供と公開	12 市予算の財源確保
13 公共施設の見直し	14 事務組織の見直しと職員資質の向上
15 その他()	

■あなたご自身のことについてお伺いします。

- ・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 男性	2 女性
------	------

- ・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
5 50代	6 60代	7 70代	8 80代以上

- ・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 大曲地域	2 神岡地域	3 西仙北地域	4 中仙地域
5 協和地域	6 南外地域	7 仙北地域	8 太田地域

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入願います。

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、6月7日(金)までに、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。